Honeywell

Genesis™ 7580

Presentation Area-Imager

ユーザーズガイド

免責条項

Honeywell International Inc. (HII) は本書に記載されている仕様およびその他情報を予告無く変更する権利を有し、読者はどのような変更がなされたかについては HII に確認する必要があります。本書に含まれる情報は、HII の責務を表すものではありませんのでご注意下さい。

HII は以降に記す技術的または編集上のエラーや脱落について責任を負いません：取付け、性能、または本書の使用による突発的かつ間接的なダメージ。

本書には、著作権によって保護された情報が含まれており、全ての権利を留保します。事前の書面による HII の承諾なしに本著作の一部をいかなる形式または手段にても複写、複製、または翻訳することを禁じます。

©2010-2011 Honeywell International Inc. All rights reserved.

ウェブサイト：www.honeywellaidc.com

商標

Omniplanar、Swiftdecoder、Metrologic、MetroSet2、Total*Freedom* は、Metrologic Instruments, Inc.または Honeywell International Inc.が所有する商標または登録商標です。

Microsoft、Windows 95 および Windows は Microsoft Corporation が所有する登録商標です。

IBM は International Business Machines Corporation が所有する商標です。

Checkpoint は Checkpoint Systems, Inc が所有する登録商標です。.

本書に記載されているその他製品名についても、各自企業の商標または登録商標であり、所有権を有する場合があります。

特許

特許一覧については、ウェブサイト（www.honeywellaidc.com/patents ）をご覧ください。

目次

はじめに

製品概要 *1*

MS7580 コンポーネント *4*

ラベル *5*

メンテナンス *5*

ケーブルの取付けと取外し *6*

インターフェースの取付け

RS232 7

キーボード・ウェッジ 8

RS485 9

USB 10

MS7580 の取付け

PN 46-00911 壁据付けアダプタ・キットのコンポーネント 12

PN 46-00913 壁据付けキットのコンポーネント 3 12

PN 46-00911 アダプタ・キットの取付け 13

PN 46-00913 壁マウントキット取付け 15

エリアイメージャの操作

モードの操作 16

音声表示 18

視覚表示 19

失敗モード 20

視野 21

分解能別 読取深度 22

IR 検知範囲 23

トラブルシューティング・ガイド ***27***

設計仕様 ***31***

アプリケーションとプロトコル ***33***

設定とアップグレード ***34***

設定モード 34
ファームウェアのアップグレード 34

MS7580-118-EAS モデル

RF EAS 統合アンテナの接続 36
EAS システムの接続 37
EAS アプリケーションの設定 39
EAS タグ無力化の範囲 41
イメージャーのピン割り当て–MS7580-118-EAS 43
Cable Pinouts 44
アンテナの取外し 44

イメージャおよびケーブル端子

スタンダード・イメージャのピン割り当て 45
スタンダードケーブルのピン割り当て 46

限定保証 ***48***

法令遵守

安全性 49
EMC 51

はじめに

製品概要

MS7580 Genesis™は、高解像度 CMOS イメージセンサーを搭載した高性能プレゼンテーションエリアイメージャです。1 次元バーコード および 2 次元シンボルを迅速かつ正確にデコードできるカスタムデコーダーソフトウェアを搭載しています。画像を鮮明に捕え、.jpg、.bmp、.tiff など様々な出力形式で送信することが可能です。

1 次元バーコードはもちろん、GS1 DataBar™（旧名 RSS コード）、PDF417、microPDF、Composite（合成シンボル）、Matrix、郵便コードなど様々なシンボルをその方向に関係なく迅速かつ正確に読み取り一方、移動するシンボルに対しても高い読み取り性能を発揮します。ファームウェアの更新はフラッシュメモリに簡単にロードできます。

MS7580 は、その視野に物体がかざされると即座にスキャナを起動する物体検知 IR センサーを内蔵しています。

Genesis™	対応インターフェース
MS7580–124*	下記のインターフェースに対応しています。 • RS232 • USB◆ • キーボードウェッジ • RS485◈（外部ケーブル）

* *EAS 搭載モデルには型番の最後に EAS と付加されています(例:MS7580-124-EAS)。詳しくは、36～44 ページを参照して下さい。*

◆ USB はキーボードエミュレーションモード、双方向シリアルエミュレーションモードまたは IBM OEM に設定可能です。USB の初期設定は、キーボードエミュレーションモードとなっています。

◈ *IBM® ホストアプリケーションに使用可能です。*

注意:標準品は、1 次元バーコード、PDF コードおよび 2 次元シンボルすべてを読み取る機能を備えて出荷されます。しかし、ハネウェル社が提供する正当な制限付きライセンスがなければ、デコード機能等が制限されるだけでなく、PDF コード、2 次元シンボルまたは OCR フォントなどを読み取る機能も制限されてしまいます。標準品に含まれていない主要な機能を含む制限付きライセンスを購入したい場合は、購入時に指定するか、またはお近くのハネウェルスキャニング＆モビリティ販売代理店にご相談ください。

キット構成

型番	説明
MS7580-124*	MS7580 Genesis プレゼンテーションエリアイメージャー
00-02544**	MetroSelect® (メトロセレクト) シングルライン設定バーコードガイド**
00-05252**	エリアイメージングイメージャー補足設定バーコードガイド*
GEN-7580-UG**	MS7580 Genesis プレゼンテーションエリアイメージャ ー 取付およびユーザーガイド*

* *EAS 搭載モデルは、型番の最後に EAS が付加されています (例:MS7580-124-EAS)。詳しくは、36 ～44 ページを参照して下さい。.*

** *ユーザーズガイドなど資料はハネウェル社のウェブサイト (www.honeywellaidc.com) からダウンロードしていただけます。*

付属品 (オプション)

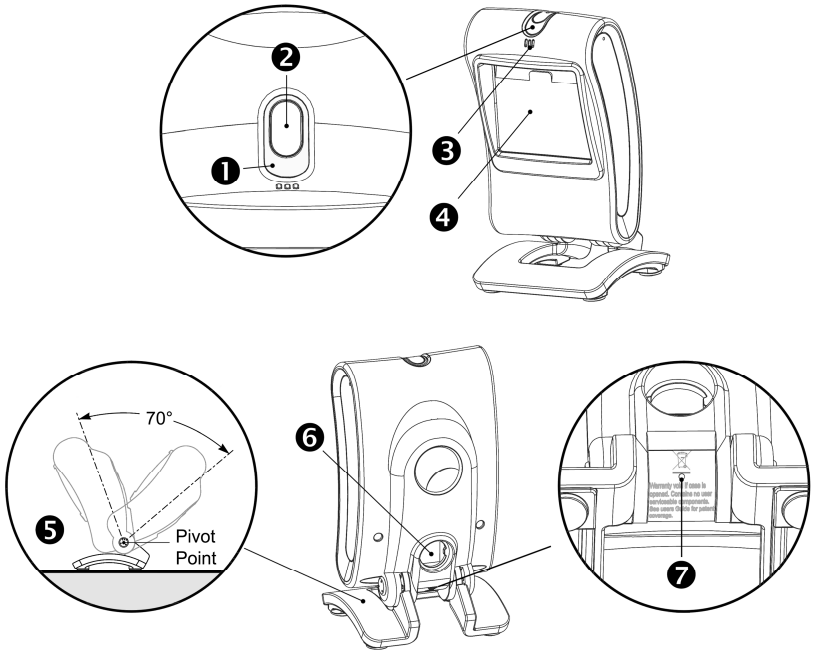
型番	説明
AC から DC への変圧器 – 調整 12VDC @ 1.25 A 出力	
46-00862	90VAC から 255VAC 米国、カナダ、日本
46-00863	90VAC から 255VAC 欧州
46-00864	90VAC から 255VAC 英国
46-00865	90VAC から 255VAC 中国
46-00866	90VAC から 255VAC オーストラリア

使用環境に合わせて、個々にご購入いただくことも可能です。追加品目をご購入の場合は、お近くのハネウェルスキャニング＆モビリティ販売代理店までお問い合わせください。各地域の事業拠点連絡先については、54 ページを参照して下さい。

型番	説明
ケーブルの互換性に関する注意事項 MS7580 は、12VDC エリアイメージャー用に設計されたケーブルを必要とします。 以下に記載する指定のケーブル（5S-5Sxxx）以外のケーブルは使用しないでください。不正なケーブルの使用により発生した損害は *48 ページ*に示す限定保証の対象となりません。	
5S-5S000-3	電源ジャック内蔵の RS232 12V VLink ケーブル 短いストレインリリーフ付き、ブラックストレートケーブル
5S-5S002-3	アダプタケーブル付き、キーボードウェッジ 12V VLink ケーブル 短いストレインリリーフ付き、ブラックストレートケーブル
5S-5S213-N-3	12V ホスト電源用の USB 直接ケーブル Locking Plus-Power™ Type A コネクタ 短いストレインリリーフ付き、ブラックストレートケーブル
5S-5S235-3	電源ジャック内蔵の USB 12V VLink ケーブル Non Locking、Type A コネクタ 短いストレインリリーフ付き、ブラックストレートケーブル
MX-RS485-5S006-3	RS485 電圧変換ケーブル（電源ジャック内蔵） 短いスとレインリリーフ付き、ブラックストレートケーブル
下記の MS7580-124-EAS ケーブルは、Checkpoint® System の機器に準拠しています。MS7580-124-EAS ケーブルの詳細については、*36 ～44 ページ*を参照して下さい。	
MX-5S114-E-3	電源ジャック内蔵の RS232 12V VLink ケーブル ブラックストレートケーブル
MX-5S236-E-3	電源ジャック内蔵の USB 12V VLink ケーブル Non Locking Type A コネクタ ブラックストレートケーブル
46-00911	MS7580 壁取り付けアダプタキット
46-00913	MS7580 壁取り付けキット
00-05250	MS7580 壁取り付けユーザーズガイド

使用環境に合わせて、個々にご購入いただくことも可能です。追加品目をご購入場合は、お近くのハネウェルスキャニング＆モビリティ販売代理店までお問い合わせください。各地域の事業拠点連絡先については、54 ページを参照して下さい。

MS7580 各部説明



項目	説明	
1	青色 LED と白色 LED	*19 ページ*を参照して下さい。
2	ボタン	モード選択ボタン
3	スピーカー	*18 ページ*を参照して下さい。
4	ウィンドウ	LED アパチャー
5	調整可能なベース	
6	ケーブル接続	10 ピン RJ45、メスソケット *45 ページ*を参照して下さい。
7	ケーブルリリース	*5 ページ*を参照して下さい。

注意：MS7580-124-EAS には電子式商品監視（EAS）システムに対応した統合アンテナを備えています。
詳しい製品情報については、*36 ～44 ページ*を参照して下さい。

図 1. イメージャーの説明

ラベル

MS7580 の出力ウィンドウの上部付近には、ラベルが貼付されています。このラベルには、製品の機種番号、製造日、シリアルナンバー、CE 、注意書きが記載されています。追加の情報は製品のケースの下側に刻印されています。ラベルおよび刻印文の例とそれらの場所を次の図に示します。

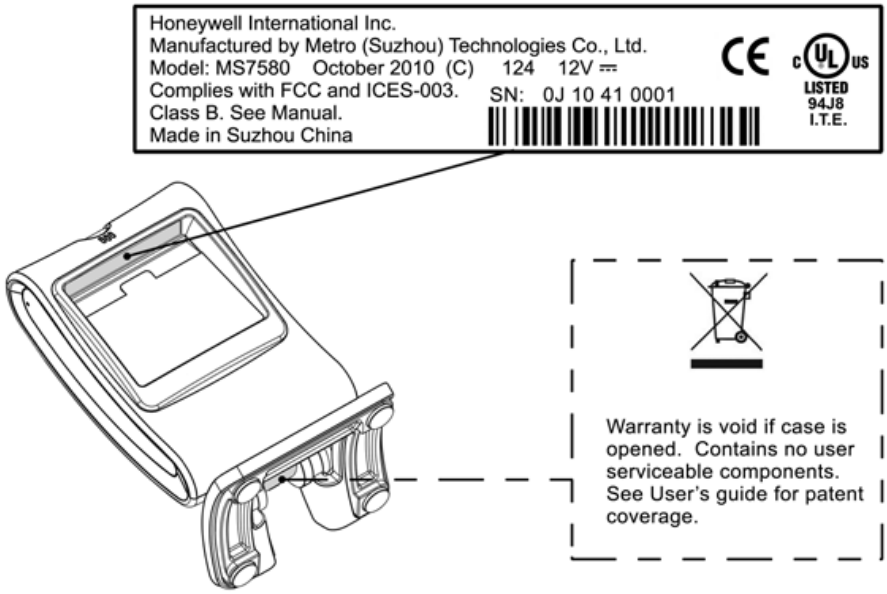


図 2. ラベルと刻印内容

北米地域のお客様へ

警告: 該当する規格への適合性を維持するため、スキャナに接続される回路はすべて NEC Class 2 電源および EN/IEC 60950-1 2.5 項 の制限付き電源の要件を満たさなければなりません。

北米以外の地域のお客様へ

警告:該当する規格への適合性を維持するため、IEC 60950-1 2.5 項 の制限付き電源の要件を満たさなければなりません。

メンテナンス

製品ウィンドウの汚れやごみはユニットの性能に影響を与える可能性があります。ウィンドウを掃除する必要がある場合は、アンモニアを含まないガラス用のマイルドクリーナーのみを使用してください。ウィンドウを掃除する際には、無リント非研磨剤クリーニングクロスにクリーナーを吹きつけ、ウィンドウを丁寧に拭きます。

製品ケースを掃除する必要がある場合は、強力な酸化剤を含まない低刺激洗浄剤を使用してください。強力な洗浄剤によって色落ちや製品の外側に損傷が発生したりすることがあります。

ケーブルの取り付けと取り外し

取り付け

1. ケーブルの 10 ピン RJ45 のコネクタを MS7580 上のソケットに挿入してください。コネクタのロックがかかると、カチッという音が聞こえます。
2. ケーブルを緩やかに引いて、ケーブルが取付けられたことを確認してください。

注意：ケーブルが完全に差し込みされていないと、製品への電力供給が間欠的になることがあります。

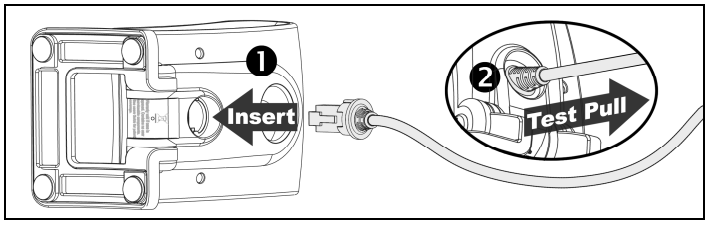


図 3. ケーブルの取り付け

取り外し

製品からケーブルを取り外す前に、ホストシステムの電源を切り、ケーブルからの電源供給を断つことをお勧めします。

1. ケーブル付近の製品上面にある小さなピン穴を見つけてください。
2. 普通のクリップを下図に示すような形に曲げます。
3. クリップ（または他の小さな金属のピン）を小さなピン穴に挿入してください。
4. ロックが解除されると、かすかな「クリック」音が聞こえます。ケーブルを緩やかに引いて、製品からケーブルを取り外します。

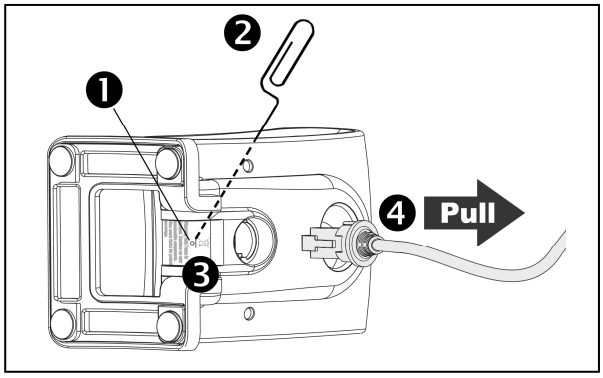


図 4. ケーブルの取り外し

MS7580-124-EAS モデルの注意

RF EAS 統合アンテナを備えた MS7580-124-EAS Genesis のケーブル取り付けおよび取り外しについては、*36 ページ* を参照して下さい。

インターフェースの取り付け

RS232

1. ホストデバイスの電源を切ります。
2. VLink ケーブルの 10 ピン RJ45 のオス端を MS7580 上の 10 ピンソケットに差し込んでください。コネクタのロックがかかると、カチッという音が聞こえます。
3. 通信ケーブルの 9 ピン D タイプコネクタをホストデバイスの適切な COM ポートに接続します。
4. 12V 電源◆を VLink ケーブルの電源ジャックに差し込んでください。
5. 電源の AC 入力要件を確認し、電圧が AC コンセントに一致しているかどうかを確認してください。コンセントは装置の付近にあり、簡単に届くようでなければなりません。
6. AC 電源◆を変圧器に接続してください。
7. MS7580 の初期化が開始されます。すると、白色 LED と青色 LED が約 3 秒間交互に点滅を繰り返します。スキャナの初期化が完了すると、ブザー音が 3 回鳴ると同時に、ユニットの白色 LED が 3 回点滅します。低輝度の青色 LED は、点灯したままの状態となります。
8. ホストデバイスに電源を投入してください。

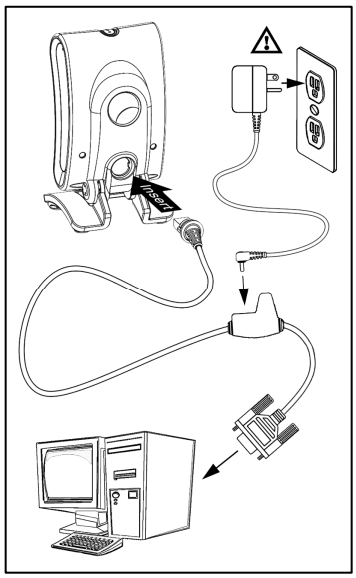


図 5. RS232

5 ページの警告をご覧ください。

取り付け時の注意

- MS7580-124-EAS モデルには、RF EAS 統合アンテナが備えられています。EAS を備えた Genesis モデルのケーブル取付けおよび取外し方法については、36 ページを参照して下さい。
- スキャナをホストシステム上のポートに差し込んだとしても、読み取られた情報がホストシステムに正しく伝送されることを保証しているわけではありません。スキャナは、デフォルト設定値で設定されて工場から出荷されます。スキャナ設定の変更については、MetroSelect® Single-Line 設定ガイド（MLPN 00-02544）または MetroSet2 のヘルプファイルを参照してください。さらに、スキャナとホストシステムが同じ通信プロトコルを使用していることも確認してください。

◆ *MS7580 は RS232 の操作に 12V の電力を必要とします。ハネウェル社は MS7580 と共に出荷される外部電源の使用を推奨致します。*

キーボードウェッジ

1. ホストデバイスの電源を切ります。
2. VLink ケーブルの 10 ピン RJ45 のオス端を MS7580 上の 10 ピンソケットに差し込んでください。コネクタのロックがかかると、カチッという音が聞こえます。
3. ホストデバイスからキーボードを切断してください。
4. 通信ケーブルの「Y」端をキーボードとホストデバイスのキーボードポートに接続します。必要であれば、スキャナと共に支給されているオス/メスのアダプタケーブルを使用して正しく接続してください。
5. 12V 電源（必須）◆を VLink ケーブルの電源ジャックに差し込んでください。
6. 電源の AC 入力要件を確認し、電圧が AC コンセントに一致しているかどうかを確認してください。コンセントは装置の付近にあり、簡単に届くようでなければなりません。
7. AC 電源を変圧器に接続してください。
8. MS7580 の初期化が開始されます。すると、白色 LED と青色 LED が約 3 秒間交互に点滅を繰り返します。スキャナの初期化が完了すると、ブザー音が 3 回鳴ると同時に、ユニットの白色 LED が 3 回点滅します。低輝度の青色 LED は、点灯したままの状態となります。
9. ホストデバイスに電源を投入してください。

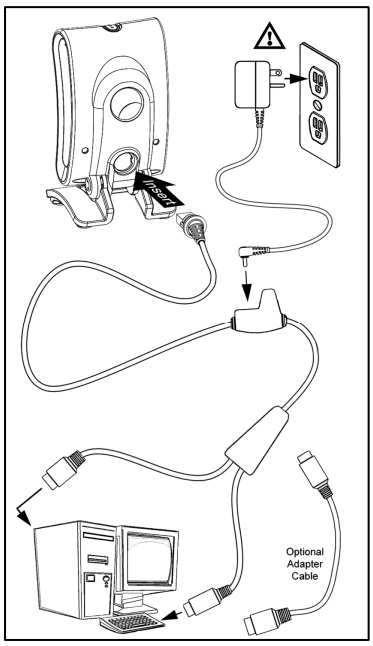


図 6. キーボードウェッジ

5 ページの警告をご覧ください。

取り付け時の注意

スキャナをホストシステム上のポートに差し込んだとしても、読取られた情報がホストシステムに正しく伝送されることが保証されるわけではありません。スキャナは、デフォルト設定値で設定されて工場から出荷されます。スキャナ設定の変更については、MetroSelect® Single-Line 設定ガイド（MLPN 00-02544）または MetroSet2 のヘルプファイルを参照してください。さらに、スキャナとホストシステムが同じ通信プロトコルを使用していることも確認してください。

◆ *MS7580 はキーボードインターフェースの操作に 12V の電力を必要とします。*

RS485

1. ホストデバイスの電源を切ります。
2. ケーブルの 10 ピン RJ45 のオス端を MS7580 上の 10 ピンソケットに差し込んでください。コネクタのロックがかかると、カチッという音が聞こえます。
3. ケーブルのもう一方の端をホストデバイス◆の適切な COM ポートに接続します◆。
4. ホストデバイスに電源を投入してください。
5. MS7580 の初期化が開始されます。すると、白色 LED と青色 LED が約 3 秒間交互に点滅を繰り返します。スキャナの初期化が完了すると、ブザー音が 3 回鳴ると同時に、ユニットの白色 LED が 3 回点滅します。低輝度の青色 LED は、点灯したままの状態となります。

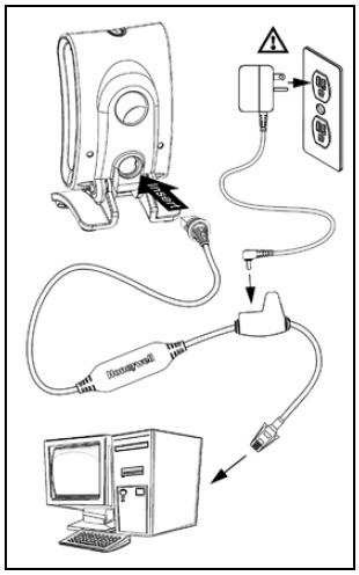


図 7. RS485

取り付け時の注意

スキャナをホストシステム上のポートに差し込んだとしても、読取られた情報がホストシステムに正しく伝送されることが保証されるわけではありません。スキャナは、デフォルト設定値で設定されて工場から出荷されます。スキャナ設定の変更については、MetroSelect® Single-Line 設定ガイド（MLPN 00-02544）または MetroSet2 のヘルプファイルを参照してください。さらに、スキャナとホストシステムが同じ通信プロトコルを使用していることも確認してください。

◆ *MS7580 は RS485 の操作に 12V の電力を必要とします。*

USB

1. ホストデバイスの電源を切ります。
2. USB ケーブルの 10 ピン RJ45 のオス端を MS7580 上の 10 ピンソケットに差し込んでください。コネクタのロックがかかると、カチッという音が聞こえます。
3. ケーブルの USB 端をホストの USB ポートに差し込んでください。

ステップ 4 と 5 は、電源ジャックが内蔵された VLink ケーブルと 12V の外部電源に関する手順です。ホストから 12V の電力を受け取る USB 直接接続ケーブル◆の場合は、ステップ 6 に進んでください。

4. 電源を VLink ケーブルの電源ジャックに差し込んでください。
5. 電源の AC 入力要件を確認し、電圧が AC コンセントに一致しているかどうかを確認してください。コンセントは装置の付近にあり、簡単に届くようでなければなりません。
6. AC 電源を変圧器に接続します。
7. ホストデバイスに電源を投入してください。
8. MS7580 の初期化が開始されます。すると、白色 LED と青色 LED が約 3 秒間交互に点滅を繰り返します。スキャナの初期化が完了すると、ブザー音が 3 回鳴ると同時に、ユニットの白色 LED が 3 回点滅します。低輝度の青色 LED は点灯したままの状態となります。

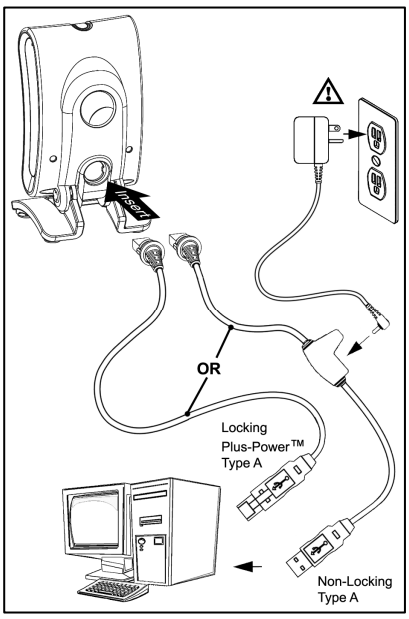


図 8. USB

*5 ページ*の警告をご覧ください。

取り付け時の注意

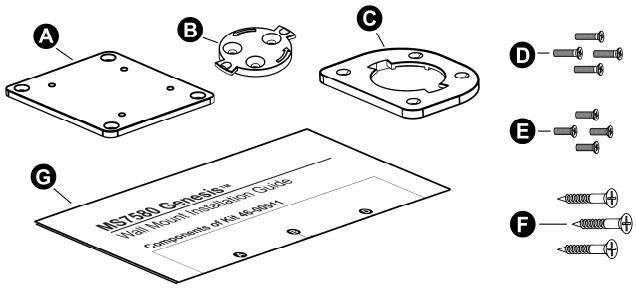
- MS7580-124-EAS モデルには RF EAS 統合アンテナを備えています。MS7580-124-EAS モデルの取付け方法については、*36 ページ*を参照して下さい。
- MS7580 は、Full Speed USB ハードウェアの要件を満たします。USB インターフェースはキーボードエミュレーションモード、双方向シリアルエミュレーションモードまたは IBM OEM に設定可能である。USB インターフェースのデフォルト設定は、キーボードエミュレーションモードとなっています。

◆ *MS7580 は、パススルー機能が機能するにはホストから 12V の電力を必要とします。USB ケーブルのオプション一覧については、3 ページを参照して下さい。*

- USB シリアルエミュレーションモードまたは IBM OEM 用の MS7580 の設定については、MetroSelect® Single-Line 設定ガイド（MLPN 00-02544）の USB の項目を参照してください。
- スキャナをホストシステム上のポートに差し込んだとしても、読取られた情報がホストデバイスに正しく伝送されることが保証されるわけではありません。スキャナは、デフォルト設定値で設定されて工場から出荷されます。スキャナ設定の変更については、MetroSelect® Single-Line 設定ガイド（MLPN 00-02544）または MetroSet2 のヘルプファイルを参照してください。さらに、スキャナとホストシステムが同じ通信プロトコルを使用していることも確認してください。

MS7580 の取り付け

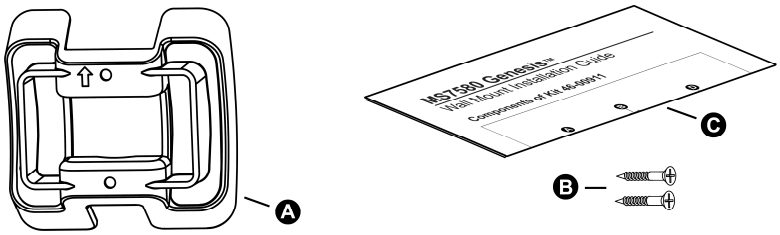
PN 46-00911 壁取り付けアダプタキットの構成



項目	説明	数量
A	ベースアダプタプレート	1
B	ロックプレート	1
C	ベースカバー	1
D	M3 x .5 - 10 mm 平頭プラスネジ	4
E	M3 x .5 - 8 mm 平頭プラスネジ	4
F	#7 x 1.00" FHP 木製ネジ	3
G	MS7580 壁取り付けユーザーズガイド	1

図 9. 46-00911 キット構成

PN 46-00913 壁据付けキットのコンポーネント



項目	説明	数量
A	壁据付マウント	1
B	#7 x 1.00" FHP 木製ネジ	2
C	MS7580 壁取り付けユーザーズガイド	1

図 10. 46-00913 キット構成

PN 46-00911 アダプタキットの取り付け

1. MS7580 の底面からゴム製の脚を取り除きます。
2. 4 つの M3 x .5 x 10 mm ネジ（■）でベースアダプタプレートをユニットの底面に取付けてください。
3. 4 つの M3 x .5 x 8 mm のネジ（●）でベースプレートをベースプレートアダプタに取付けてください。

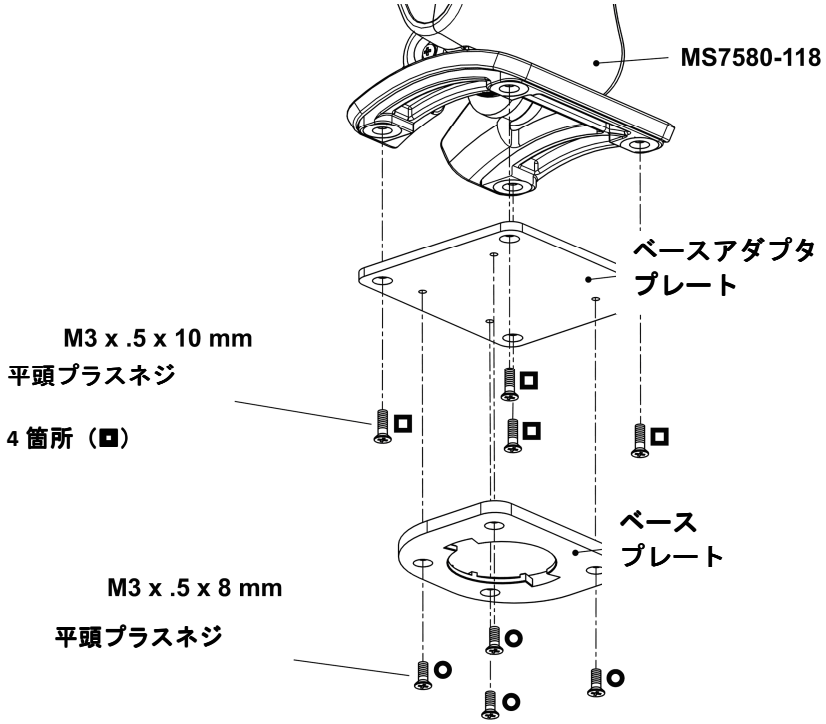


図 11. アダプタキットの取り付け方法

4. ロックプレートを取り付ける前に、ロックプレートが完全に取り付けられた状態のユニットの位置を検討します。ロックプレート上には 2 つのタブがあります。これらのタブは、ユニットが所定の位置にロックされたときに向く 2 つの方向を示しています

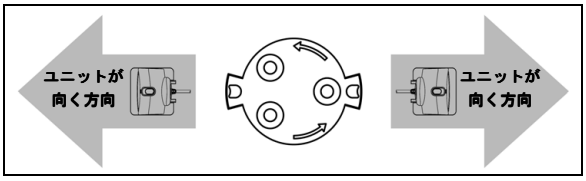


図 12. ロックプレート

5. ロックプレートをガイドとして使用して、取付け面に 3 つの#39 パイロット穴（A）を開けます。

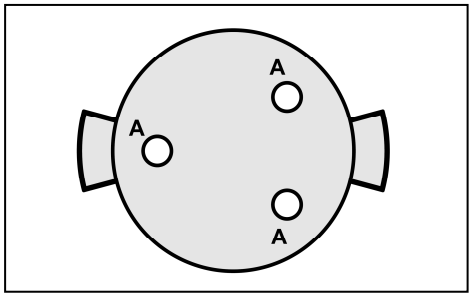


図 13.ロックプレート (正しい縮尺で描かれていません。)

6. 支給の 3 つの#7 木製ネジ（◈）でロックプレートを壁に固定します。

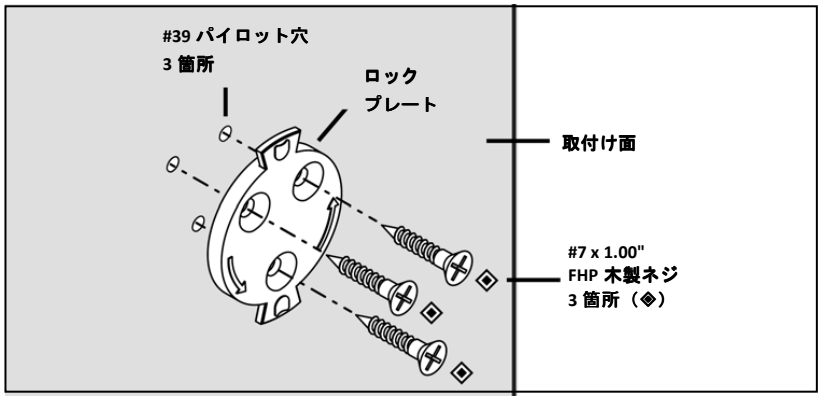


図 14. ロックプレートの固定

7. ベースプレートがロックプレートと面一になるようにロックプレート上にかぶせてユニットを位置付けます。ユニットを 90 度逆時計周りに回転させ、所定の位置にロックしてください。

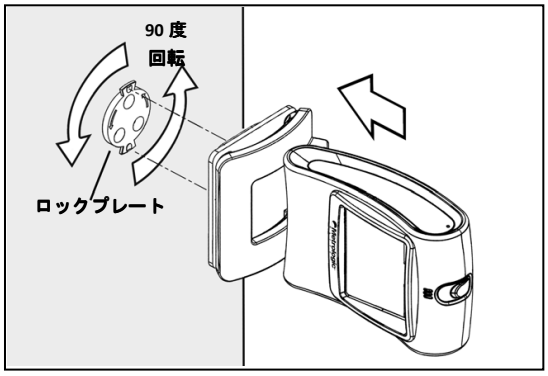


図 15. スキャナの固定

PN 46-00913 壁取り付けキット

1. 取付け面に 2 つの#39 パイロット穴を開けてください。パイロット穴は垂直方向に互いに 44 mm 離して位置付ける必要があります。

2. 矢印を上に向けながら、ウォールマウントをパイロット穴上にかぶせるように位置付けます。

3. 支給の 2 本の#7 木製ネジ（◈）でウォールマウントを壁に固定してください。

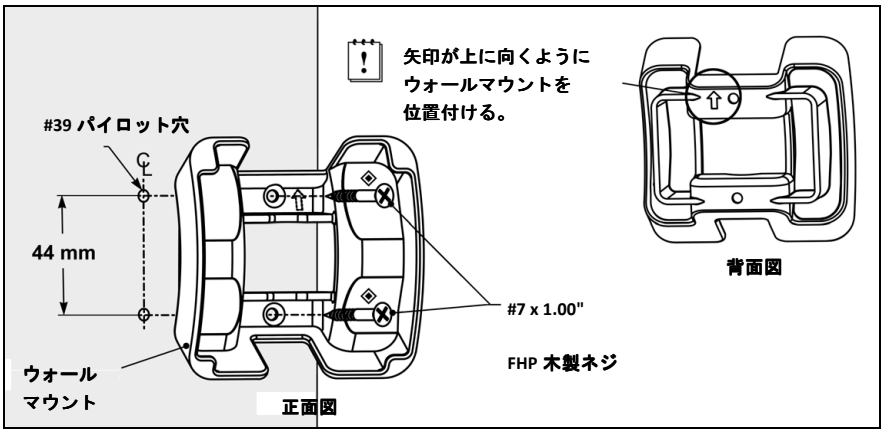


図 16.

4. ウォールマウント上側のコーナータブの下にユニットのベースを滑らせます。

5. ベースの残りの部分を滑らせてコーナータブの内側に入れ、下方に滑らせ、ベースが下側のコーナータブの後ろに来るようにします。

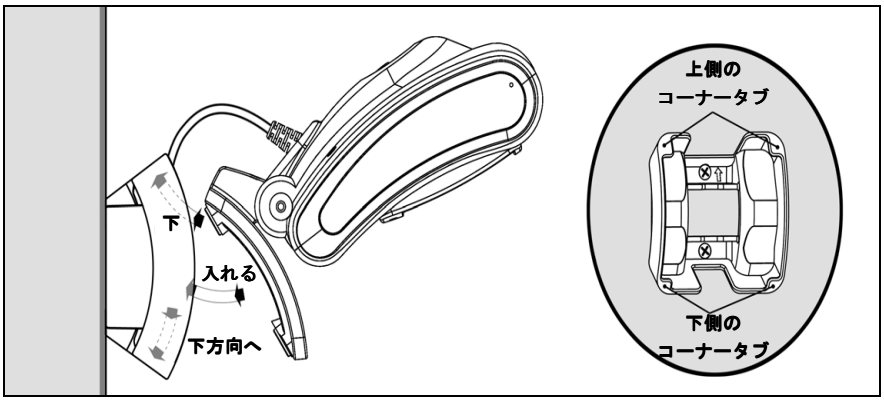


図 17.

エリアイメージャーの操作

モードの操作

MS7580 には、「自動起動」読み取りと「手動起動」読み取りという 2 つの標準操作モードを採用しています。自動起動モードでの読み取りは、パススルー◆またはプレゼンテーションという 2 種類のいずれかを設定できます。パススルーおよびプレゼンテーションの両オプションはデフォルトで有効化されています◆◆。デフォルト設定では、スキャナは 300 ミリ秒間パススルー状態で動作した後、さらなるデコード機能のためにプレゼンテーション状態に変更されます。

異なる動作モードおよびスキャナ状態は次のとおりです。

自動起動モード

パススルー読取◆ – 1 次元バーコードおよび PDF コードをデコードします。

読取方法:

1. バーコードをスキャナの読み取り範囲内にかざし、データの読み取り、デコード、送信を行います。

プレゼンテーション読取–1 次元、PDF コードおよび 2 次元シンボルをデコードします。

読取方法:

1. IR 検知範囲に物体を置きます。
2. スキャナウィンドウの正面（読み取り範囲内）に物体のバーコードをかざし、データの読み取り、デコード、送信を行います。

手動起動◇

1 次元バーコード、PDF コードおよび 2 次元シンボルをデコードします◇◇。

◆ MS7580 は、パススルー機能の動作に 12V の電力が必要です。

◆◆ 最適な読取性能のために、ハネウェル社が推奨するデフォルト設定です。

◇ 設定バーコードを読み取るには、手動起動モードで操作する必要があります。

1. ボタンを 1 回押して、リニアターゲット機能（LED の照準）を起動してください。
2. リニアターゲット線を読み取りたいバーコードに合わせます。

   注意:1 次元バーコードを読み取る際、バーコードは正しい方向でスキャナにかざさなければなりません。 **Error! Reference source not found.***を参照して下さい。PDF および 2 次元シンボルはどの向きでもかざすことができます。*

図 18. 1 次元 バーコードの向き

3. ボタンを 2 度押してデータのデコードと送信を行ってください。
4. ボタンを 2 回押すか、デフォルト設定のタイムアウトが過ぎれば、スキャナはデフォルトのプレゼンテーションモードに戻ります。

注意:ハネウェル社が提供するライセンス番号によって、スキャナのデコード機能等が制限されます。スキャナに適切なライセンスがなければ、PDF、2 次元シンボル、OCR フォントのデコード機能など、主要な機能をお使いいただけません。必要なライセンスは、購入時に指定するか、お近くのハネウェルスキャニング＆モビリティ販売代理店にお問い合わせください。標準品は、1 次元バーコード、PDF、2 次元シンボルすべての読み取り機能を備えて出荷されます。OCR フォントはデフォルトでは無効化されており、追加でライセンスをご購入いただく必要がございます。

音声表示

MS7580 は、スキャナの状態を表すブザー音を鳴らします。ブザー音の音調は、8 種類（通常音、6 種類の交互音、およびブザー音なし）まで設定可能です。ブザー音の変更は、MetroSelect® Single-Line 設定ガイド（MLPN 00-02544）もしくは MetroSet2 のヘルプファイルを参照してください。

1 回のブザー音

スキャナが正常にバーコードを読み取った場合、ブザー音を 1 回鳴らし、白色 LED が点滅し、データが正常にホストシステムへ転送されたことをお知らせします。

スキャナの読み取り範囲内に物体がかざされていない場合は、青色 LED が低輝度状態に戻ります。

スキャナのブザー音が 1 回も鳴らず、白色 LED も点滅しない場合は、バーコードが正常に読み取られていません。

短いエラー音

これは失敗の表示です。*20 ページ*「失敗モード」をご覧下さい。

長いエラー音

これは失敗の表示です。*20 ページ*の「失敗モード」をご覧下さい。.

電源投入時 - 3 回のブザー音

MS7580 が電力を最初に受け取ると、初期化が開始されます。白色 LED と青色 LED が約 3 秒間交互に点滅を繰り返します。スキャナの初期化が完了すると、ブザー音が 3 回鳴ると同時に、白色 LED が 3 回点滅し、スキャナが使用できる状態になったことを示します。

設定モード時 - 3 回のブザー音

設定モードに入ると、ブザー音が 3 回鳴ると同時に、ユニットの白色 LED が点滅します。このモードでは、白色 LED と青色 LED が継続的に点滅を繰り返します。設定モードが終了すると、スキャナは 3 回ブザー音を鳴らし、LED は点滅しなくなります。

3 回のブザー音は、通常の読み取りモードにおける通信タイムアウトを意味するように設定することもできます。

ワンコードプログラミングを使用すると、スキャナはブザー音を 3 回鳴らします。すなわち、通常の音調で音が鳴り、短いポーズの後に、高音と低音のブザー音が鳴ります。これは、スキャナが 1 つの設定バーコードで設定変更されたことを示します。

視覚表示

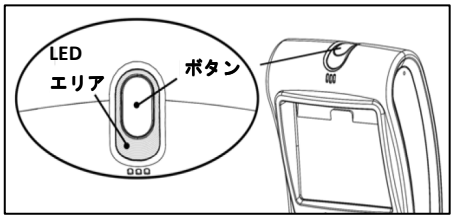


図 19.

スキャナには、スキャナ最上部のボタンの周囲に青色 LED と白色 LED が組み込まれています。この LED の動作がスキャナの状態を表します。

LED が点灯していない場合

ホストデバイスや AC アダプタから電力の供給を認識していない場合、LED が点灯しません。

低輝度な青色 LED が点灯

スキャナがスタンバイモードであることを示します。バーコードをスキャナにかざすと、IR が物体を検知し、青色 LED が高輝度な青に切り替わります。

高輝度な青色 LED が点灯

スキャナが起動し、バーコードのデコードを試みている状態を表しています。

白色 LED が 1 回点滅

スキャナがバーコードを正常に読み取ると、ブザーを 1 回鳴らし、白色 LED が 1 回点滅し、データが正常にホストシステムへ転送されたことを示します。スキャナの読み取り範囲に物体がかざされていない場合、青色 LED は低輝度状態に戻ります。

スキャナからブザー音が 1 回も鳴らず、白色 LED も点滅しない場合は、バーコードが正常に読取られていません。

白色 LED が点灯

スキャナが正常にバーコードを読み取ると、ブザーを 1 回鳴らし、白色 LED が 1 回点滅し、データが正常に転送されたことを示します。

注意:読み取りが正常に終了した後、スキャナはホストデバイスにデータを送信します。一部の通信モードでは、ホストがデータを受信できる準備ができていることをスキャナに知らせる必要があります。ホストが情報を受け取る準備ができていない場合、データを転送できるようになるまで、スキャナの白色 LED が点灯したままになります。

白色と青色の LED が交互に点滅

これは、スキャナが設定モードであることを意味します。短いエラー音は、設定モード中に不適切なバーコードが読み取られたことを示します。

失敗モード

電源投入時 - 長いエラー音

スキャナの初期化または設定が失敗したことを表します。再設定後にスキャナが応答しない場合、スキャナを修理のために返却してください。

読み取り時 - 短いエラー音

設定モードで不適切なバーコードが読取られたことを示します。

視野

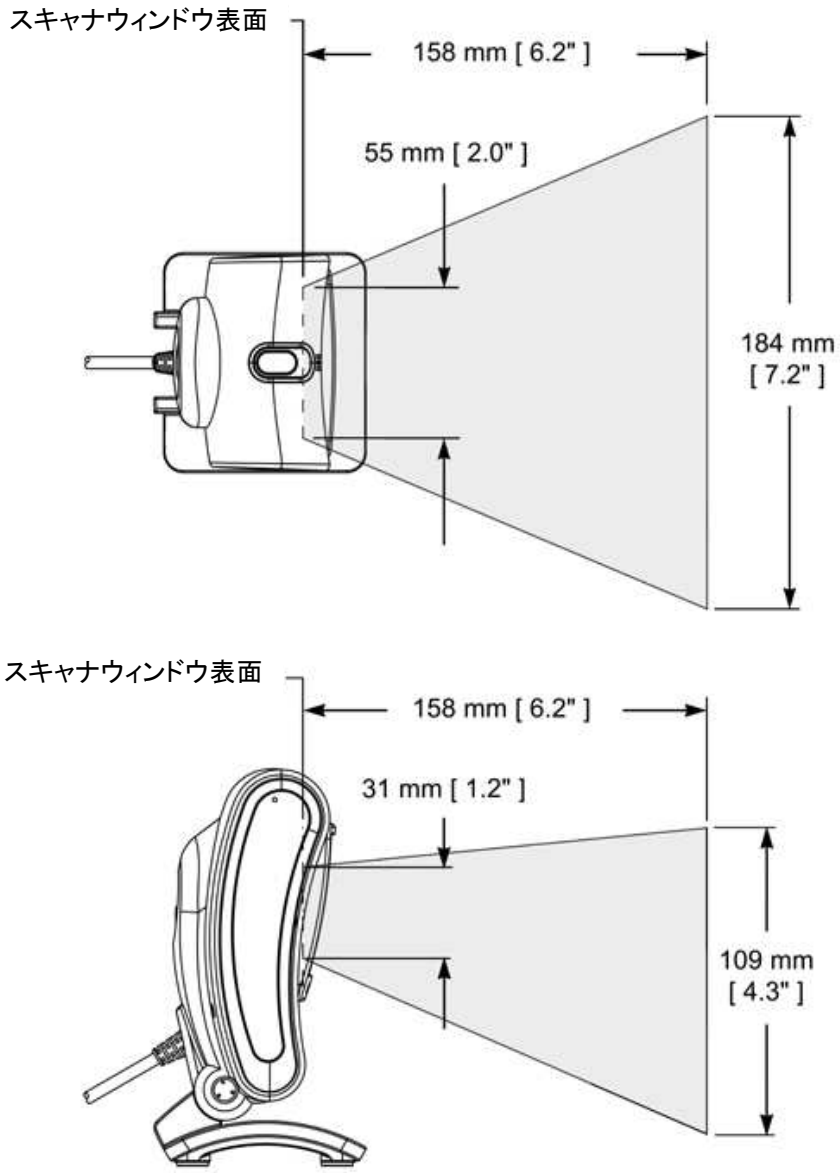
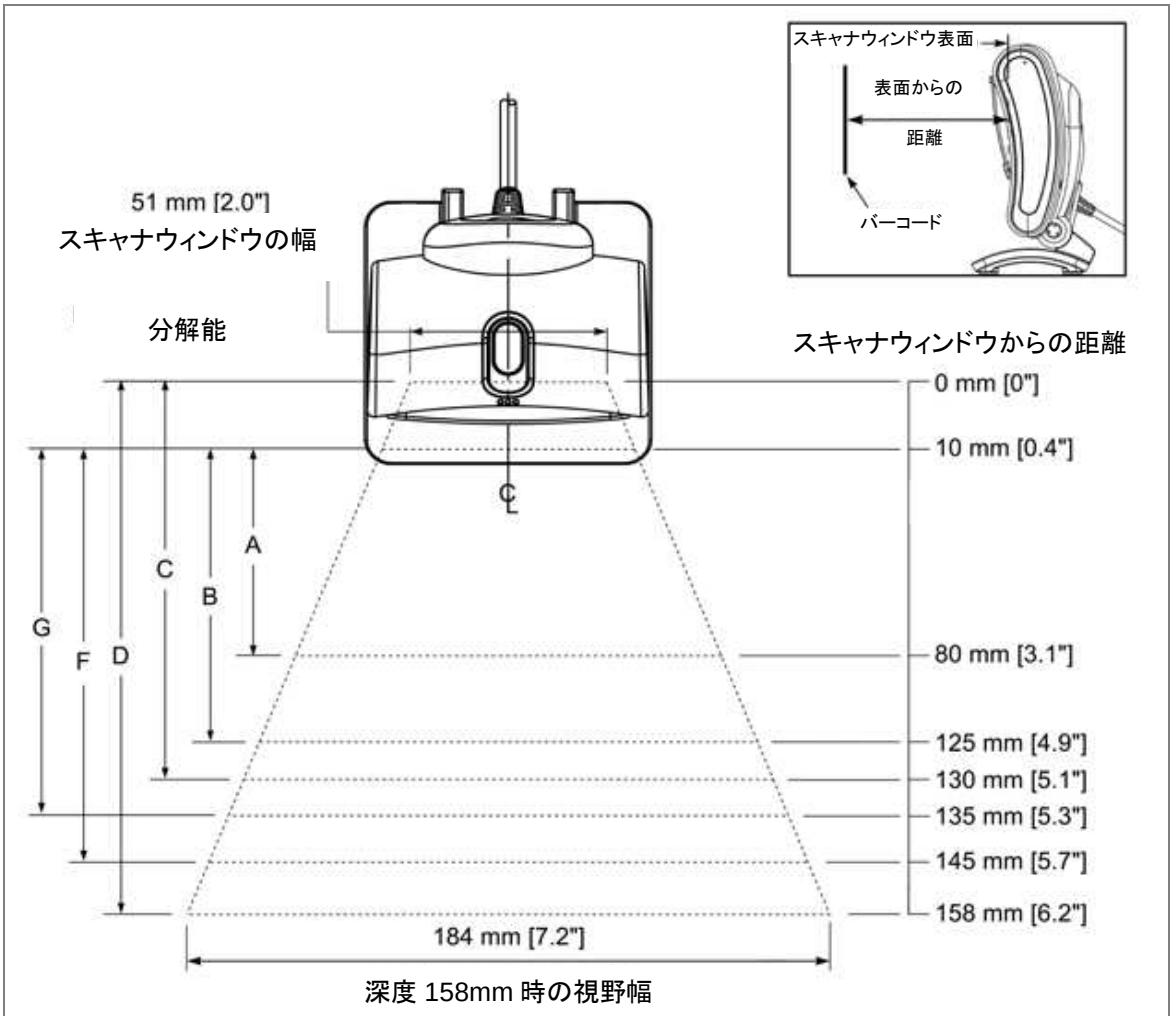

スキャナウィンドウ表面
158 mm [6.2"]
55 mm [2.0"]
184 mm
[7.2"]
スキャナウィンドウ表面
158 mm [6.2"]
31 mm [1.2"]
109 mm
[4.3"]

図 20. 視野

分解能別 読取深度



	分解能					
	1D				PDF	QR+DM*
	A	B	C	D	F	G
mm	.13	.19	.26	.33	.25	.38
mils	5.0	7.5	10.4	13	10	15

図 21. 分解能別読取深度

** QR コード および データマトリックスコードを指します。*

注意：標準品は、1 次元バーコード、PDF コードおよび 2 次元シンボルすべてを読み取る機能を備えて出荷されます。しかし、ハネウェル社が提供する正当な制限付きライセンスがなければ、デコード機能等が制限されるだけでなく、PDF コード、2 次元シンボルまたは OCR フォントなどを読み取る機能も制限されてしまいます。標準品に含まれていないいくつかの主要な機能の制限付きライセンスを購入したい場合は、購入時に指定するか、またはお近くのハネウェルスキャニング＆モビリティ販売代理店にご相談ください。

IR センサーの物体検知範囲

MS7580 は、スキャナの IR センサー検知範囲内に物体をかざすと、スキャナを瞬時に起動させる物体検知センサーを内蔵しています。

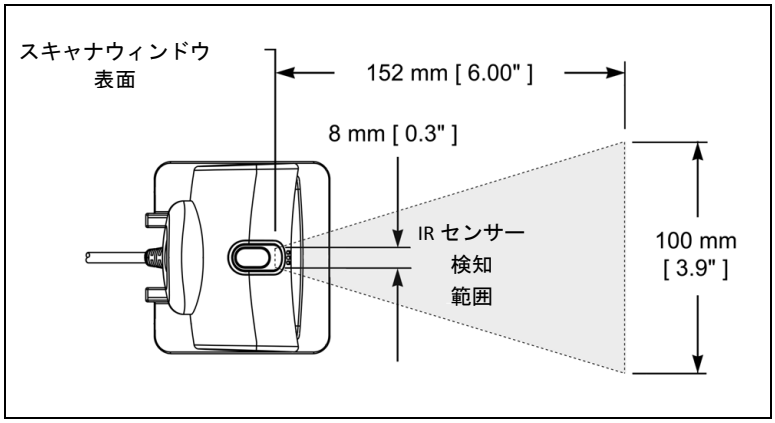


図 22. IR センサー検知範囲

光源

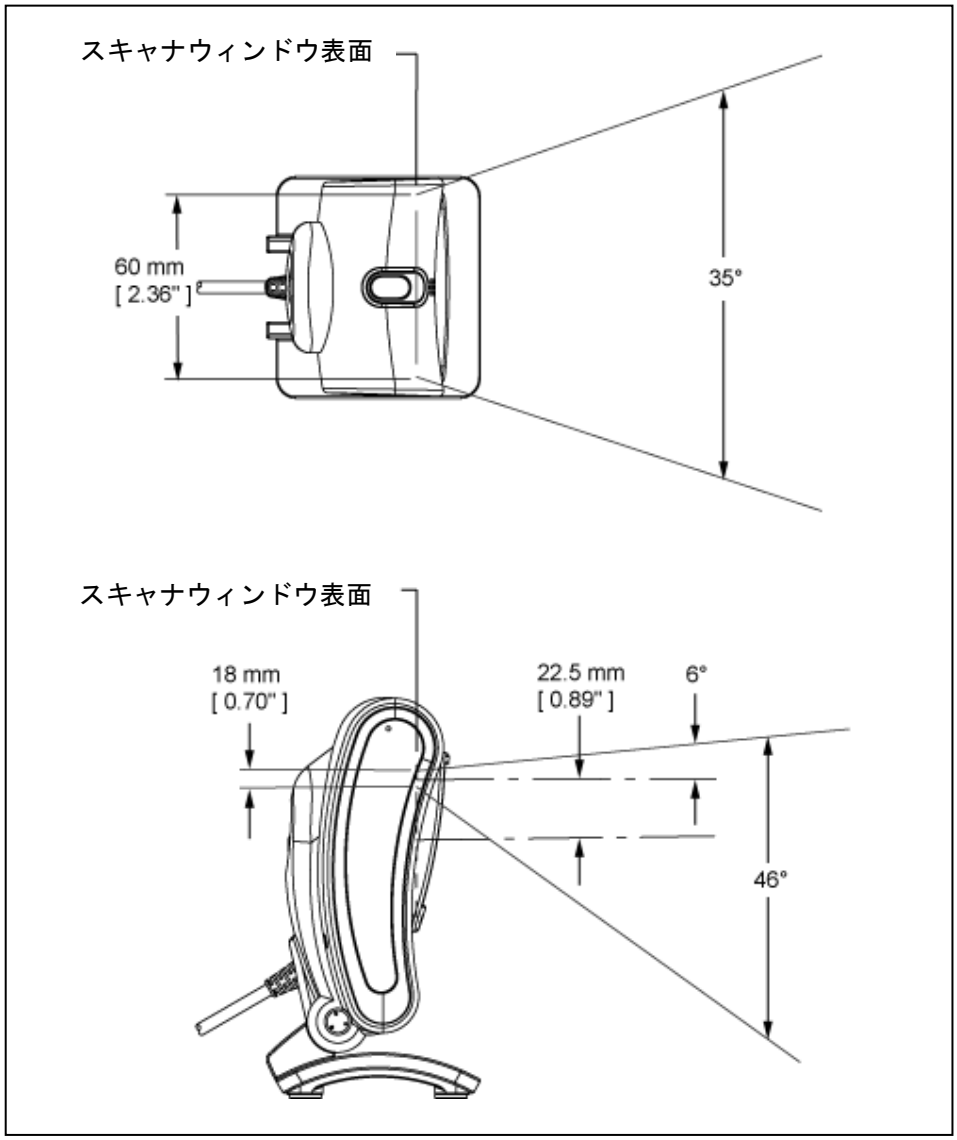


図 23. 光源

IR センサー

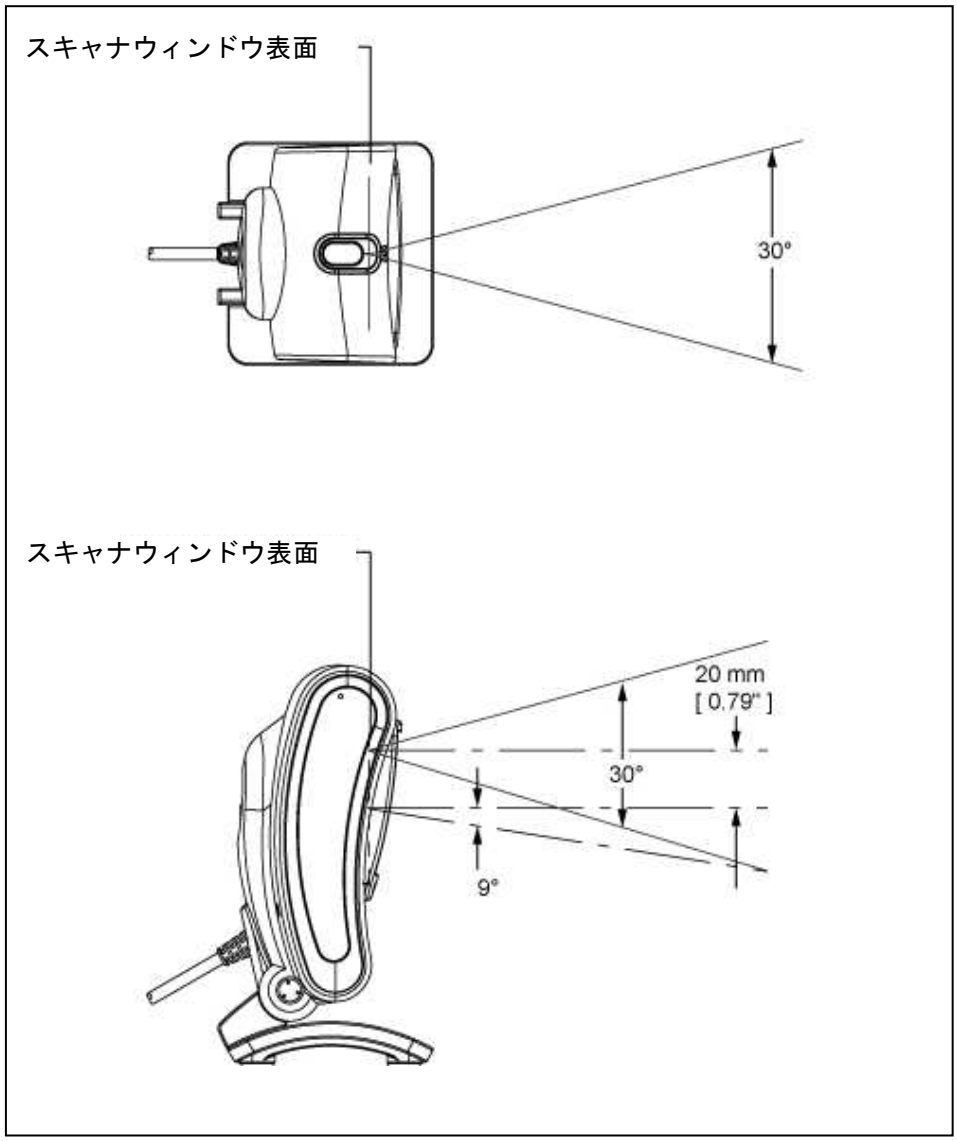


図 24. IR センサー

照準

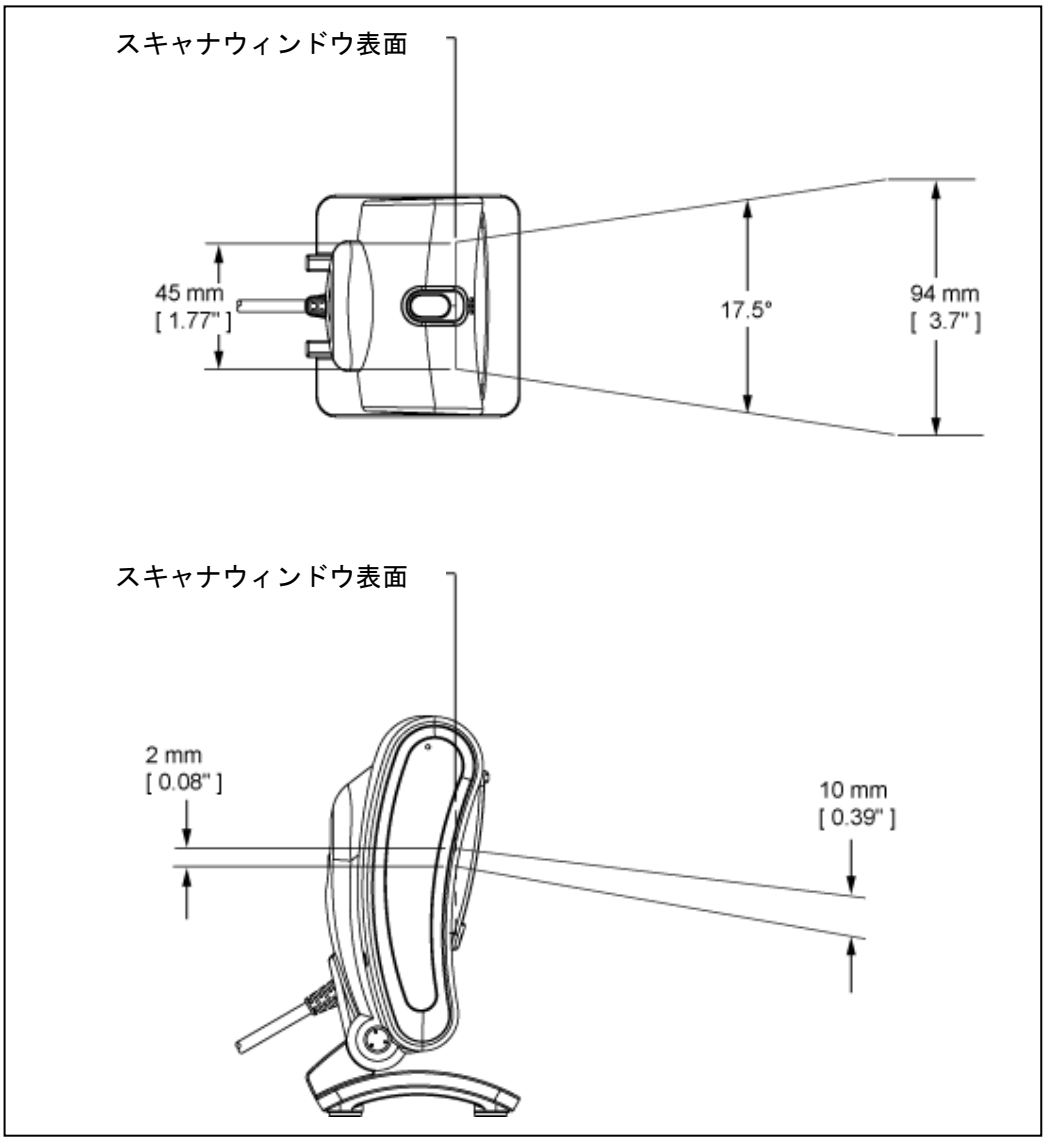

スキャナウィンドウ表面
45 mm
[1.77"]
17.5°
94 mm
[3.7"]
スキャナウィンドウ表面
2 mm
[0.08"]
10 mm
[0.39"]

図 25.照準

トラブルシューティングガイド

下記は、参照目的のみの掲載です。限定保証条件を維持するには、カスタマーサービス担当者かテクニカルサポート担当者に御問合せ下さい。連絡先情報については、*54 ページ*を参照して下さい。

全てのインターフェース

項目	症状	解決方法
LED、ブザー音、 レーザー光なし	スキャナに電力が供給されていない。	変圧器、コンセント、パワープラグをチェックします。ケーブルがスキャナに差し込まれていることを確かめてください。
	ホストからスキャナに電力が供給されていない。	一部のホストシステムは MS7580 に十分な電力を供給できません。電源が必要となることがあります。
電源投入時の長い異常音	スキャナ設定の不具合	保存する設定をスキャナが保持しない場合は、ハネウェル社のサービス担当者にご連絡ください。
	診断の不具合	スキャナが機能しない場合は、ハネウェル社のサービス担当者にご連絡ください。
設定モードの終了時に長い異常音	新しい設定保存の不具合	スキャナの再設定してください。保存する設定をスキャナが保持しない場合は、ハネウェル社のサービス担当者にご連絡ください。
長い異常音	読み取り機構の不具合	ハネウェル社のサービス担当者にご連絡ください。
設定モードで短い異常音	無効なバーコードが読取られた。	有効なバーコードを読み取るか、設定モードを終了してください。

症状	起こりうる原因	解決方法
スキャナは電源が投入されているが、バーコードを読取ってもブザー音が出ない。	ブザー音が無効化されており、音調が選択されていない。	ブザー音を有効化し、音調を選択してください。
スキャナは電源が投入されているが、読み取りもせず、ブザー音も出ない。	読み取りが試みられているバーコード体系が有効化されていない。	UPC/EAN、Code 39、interleaved 2of 5、Code 93、Code 128、Codebar および PDF がデフォルトで有効化されています。読み取るバーコードタイプが選択されているかどうか確認してください。
スキャナは電源が投入されているが、読み取りもせず、ブザー音も出ない。	スキャナが読み取りを試みているバーコードが、設定された基準に合っていない。	スキャン対象のバーコードが、設定された基準に合っているかどうかを確認してください（すなわち、キャラクタ長ロックあるいは最小のバーコード長の設定）。
次の項目は、RS232 およびシリアル USB の各インターフェースにのみ該当します。		
スキャナはバーコードを読み取るが、1 回目のスキャン後にロックし、白色 LED が点灯したままになる。	スキャナは一部のホストハンドシェーク形式をサポートするように設定されているが、信号を受信していない。	スキャナが ACK/NAK、RTS/CTS または XON/XOFF をサポートするように設定されている場合、ホストケーブルとホストがハンドシェークを適切にサポートしているか確認してください。
スキャナは読み取りを行うが、ホストに送信されるデータが正しくない。	スキャナのデータフォーマットがホストシステム要件に合っていない。	スキャナのデータフォーマットがホストの要求するものと一致しているか確認してください。スキャナが適切なホストポートに接続されているか確認してください。

症状	起こりうる原因	解決方法
スキャナはいくつかのバーコードではブザー音を鳴動するが、同じコード体系の他のバーコードにはブザー音が出ない。	バーコードの印刷品質に問題がある可能性がある。	チェックディジット/キャラクタ/境界の問題かどうかを確認してください。
	スキャナがこのタイプのバーコードに正しく設定されていない。	チェックディジットが適切に設定されているかどうか確認してください。
	最小読み取り桁数設定がバーコードには合わない。	適切な最小読み取り桁数が設定されているかどうかを確認してください。
スキャナはバーコードを読み取るが、データがない。	正確な設定がされていない。	スキャナが適切なモードに設定されているか確認してください。
次の項目は、キーボードインターフェースにのみ該当します。		
スキャナはバーコードを読み取るが、データが正しくない。	正確な設定がされていない。	適切な PC タイプ（AT または PS2）が選択されているかを確かめます。正しい国コードとデータフォーマットが選択されていることを確認してください。インターキャラクタディレー現象を調整してください。
スキャナが各キャラクタを 2 回送信する。	正確な設定がされていない。	インタースキャンコードディレー設定値を増やしてください。F0 ブレークが送信されるように調整します。両方の設定でこれを試す必要があるかもしれません。
アルファベット文字が小文字で表示される。	コンピュータが Caps Lock モードになっている。	スキャナの Caps Lock 検知設定を有効化し、PC が Caps Lock で動作しているかどうかを検知させてください。
2～3 のキャラクタを除いて、すべて正常に動作する。	その国のキールックアップ表でそのキャラクタがサポートされていない可能性がある。	スキャナを Alt モードで動作するよう試みてください。

症状	起こりうる原因	解決方法
スキャナは読み取るが、データが正しくない。	スキャナとホストが同じインターフェースパラメータで設定されていない可能性がある。	スキャナとホストが同じインターフェースパラメータで設定されていることを確認してください。
次の項目は、RS232 インターフェースにのみ該当する。		
スキャナは正常に電源が投入され、読み取りにも問題がないが、ホストと適切に通信しない。	ホストの Com ポートが作動していないか、設定が適切にされていない。	スキャナおよび通信ポートのボーレートとパリティが合っているかと、プログラムが「RS-232」データを探しているかどうかを確かめてください。
スキャナは正常に電源が投入され、読み取りにも問題がないが、ホストと適切に通信しない。	ケーブルが適切な Com ポートに接続されていない。	ケーブルが適切な Com ポートに接続されているかどうかを確認してください。
キャラクタが桁落ちする。	送信出力にインターキャラクタディレーを追加する必要がある。	設定ガイド（MLPN 00-02544 および 00-05252）を使用して送信出力にインターキャラクタディレーを追加してください。
次の項目は、USB インターフェースのみに該当します。		
LED、ブザー音、レーザー光なし	USB ホストが稼動していない可能性がある。 MS7580 は、ホスト通信がない限り、ハブ／ホスト電力で動作しない。	ホストデバイスに電源を投入してください。
	スキャナが操作をサポートするのに十分な電力を受信していない。 *32 ページの電気的仕様を参照してください。*	スキャナに十分な電力が供給されているかどうかを確認してください。

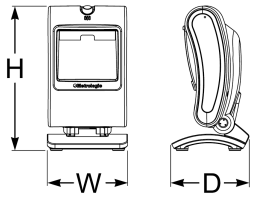
設計仕様

一般仕様

光源:	LED 645 nm ±7.5 nm	
パルス時間:	最高 600µs (デフォルト)	
LED の最大出力:	最大 70 mA で 5,800 mlm を出力	
読み取り深度:	0 mm ～ 158 mm (0" – 6") (分解能 0.33 mm のバーコードを使用した場合)	
視野:	表面/ウィンドウで、51 mm x 31 mm（2.2" x 1.4"）	
	表面から 158 mm（6"）では、184 mm x 109 mm（7.3" x 4.3"）	
分解能:	1 次元	0.101 mm（4 mil）
	2 次元	0.254 mm（10 mil）
解像度:	832 x 504 ピクセル	
IR 検知範囲:	0 mm（0"）～152 mm（6"）	
読み取りシンボル:	1 次元バーコード、RSS、PDF417、microPDF、MaxiCode、Data Matrix、QR Code、UCC、EAN Composites、郵便コード、Aztec といった標準的なシンボルほぼ全てに対応 *（画像転送）*-USB および RS232 の各インターフェースでの BMP、TIFF または JPEG 出力	
システムインターフェース:	PS2 キーボードインターフェース、RS232、RS485、USB	
最小シンボルコントラスト:	最低でも 20%の反射率差	
読取キャラクタ数:	最大 4,096 バイト	
ブザー音操作:	7 種類の音調またはブザー音なし	
表示灯（LED）の *デフォルト設定*:	高輝度青	スキャナが動作しておりスキャンを試みています。
	低輝度青	スキャナがスタンバイ状態です。
	白	正常に読み取りしました。

機械仕様

高さ (H):	150 mm (5.91")
幅 (W):	83 mm (3.27")
奥行き (D):	80 mm (3.15")
重量:	340 g ± 15g (12 oz. ± 5 oz.)
コネクタ:	10 ピンモジューラ RJ45



電気仕様

		+12 ボルト アダプタ値	+5 ボルト USB 電力値
入力電圧:		12VDC ± 0.25V	5VDC ± 0.25V
電力:	ピーク◆	2.0 W（通常）	1.6 W（通常）
	動作	1.7 W（通常）	1.4 W（通常）
	スタンバイ	1.3 W（通常）	1.0 W（通常）
電流:	ピーク◆	167 mA（通常）	320 mA（通常）
	動作	142 mA（通常）	280 mA（通常）
	スタンバイ	109 mA（通常）	200 mA（通常）
	◆ 幅が少なくとも 1 ms のピーク値.		
DC 変圧:	クラス 2、12VDC @ 1.25 A		
法令遵守情報については、49–53 ページを参照して下さい。			

環境仕様

温度:	動作＝0℃～40°（32°～104°F）
	保管＝-40℃～60℃（-40°F～140°F）
湿度:	0%～95%の相対湿度、結露なし
対外乱光:	最高 100,000 ルクス
衝撃:	1.5 m（5'）からの高さから落下後、正常に動作すること
汚染:	大気中浮遊粒子状汚染物質を防止するように密閉
換気:	必要なし

アプリケーションとプロトコル

各スキャナのモデル番号には、スキャナ番号とデフォルトの通信プロトコルが含まれます。

スキャナ	バージョン識別子	通信プロトコル（複数も可）
MS7580	124	以下のインターフェースに対応しています。 • RS232（TXD◆、RXD、RTS◆、CTS） • USB◆◆ • キーボードインターフェース • RS485
◆ *TXD および RTS は TTL レベルで送信されます。追加の RS232 オプションについては、ハネウェル社の顧客サービス担当者にご連絡ください。* ◆◆ *USB はキーボードエミュレーションモード、双方向シリアルエミュレーションモードまたは IBM OEM に設定可能です。USB のデフォルト設定は、キーボードエミュレーションモードとなっています。*		

PC キーボードインターフェース内臓の MS7580 は、キーボードエミュレーションの使用のみを目的として設計されています。ハネウェル社の他のスキャナで使用できる RS232 の多くの設定可能な機能は、キーボードインターフェースでもお使いいただけます。

下記はキーボードインターフェースに固有な最も重要な選択オプションです。

キーボードタイプ

- *AT (IBM® PS2 モデル 50, 55, 60, 80 を含む)
- IBM PS2 (モデル 30, 70, 8556 を含む)

キーボード国別タイプ

- *米国
- ベルギー
- フランス
- ドイツ
- ハンガリー
- イタリア
- 日本
- ロシア語キリル文字
- スロベニア
- スペイン
- スイス
- スウェーデン／フィンランド
- トルコ
- 英国

* デフォルト設定を示します。デフォルト設定値の変更については、MetroSet2 のヘルプファイル、MetroSelect® Single-Line 設定ガイドまたはエリアイメージ補足プログラムガイドを参照してください。

設定とアップグレード

設定モード

MS7580 には、次の 3 つの設定モードがあります。

- **バーコード**

  MS7580 は、エリアイメージャと共に出荷される MetroSelect Single-Line 設定バーコードガイドまたはエリアイメージ補足プログラムガイドに記載のバーコードを読み取ることで設定できます。これらマニュアルはハネウェル社ウェブサイト（www.honeywellaidc.com）から入手可能です。

- **MetroSet*2***

  この Windows®ベースの設定プログラムを使用すると、必要なスキャナオプションを簡単に「ポイントアンドクリック」するだけで設定変更できます。MetroSet2 は、ハネウェル社のウェブサイト（www.honeywellaidc.com）から入手できます。

- **シリアルプログラミング**

  この設定モードは OEM アプリケーションに最適です。このモードによって、エンドユーザーはホストシステムのシリアルポートを使用して一連のコマンドを送信できます。コマンドは、MetroSelect® Single-Line 設定ガイドに記載のバーコードの数値に等価です。

ファームウェアのアップグレード

MS7580 は、ファームウェアのフラッシュアップグレードが可能なハネウェル社のスキャナ製品群の一部です。アップグレードには、顧客サービス担当者◆によって顧客に支給される新しいファームウェアおよびハネウェル社の MetroSet2 ソフトウェア◆◆が必要です。RS232 シリアルポートまたは USB ポートが使用できる Windows 95 以上を実行している PC はアップグレードを行う必要があります。

*注意：ファームウェアのアップグレードには、キーボードインターフェースまたは RS485 MS7580 インターフェースのキットとともに提供される標準的なケーブルを**使用しないでください。**アップグレード作業に USB または RS232 を使用する場合は、スキャナとともに提供される標準的な USB ケーブルまたは RS232 ケーブルを使用できます。*

◆ *54 ページの連絡先情報を参照して下さい。.*

◆◆ *MetroSet2 は、ウェブサイト（www.honeywellaidc.com）から無償で入手可能です。*

MS7580 内のファームウェアをアップグレードするには:

1. スキャナをホストシステムのシリアル通信ポートに差し込んでください。
2. MetroSet2 ソフトウェアを起動します。
3. *[Supported Scanners]*の下から*[Imaging Scanners]* を選択し、隣のプラス記号(+)をクリックします。
4. リストから *[7580/Genesis]* または*[7580/Genesis Rev. C]* をダブルクリックしてください。

   注意:MS7580 はハードウェアのバージョンによって、選択肢が「Genesis/7580」と「Genesis/7580 Rev C」の 2 つに分かれます。5 ページを参照しながら、MetroSet2 を起動する前に必ずハードウェアのバージョンを確認してください。

5. *[Select Interface]* から該当するインターフェースを選択してください。
6. 画面の左側にあるオプションリストから*[Utility]*を選択します。
7. *[Utility]* の下から適当な接続方法を選択します。

   このメニューの下には*[Flash Main Processor]* と*[Flash Co-Processor]* の 2 種類があります。各々ファイル形式が異なりますので、ご注意ください。
8. *[Open File]* をクリックし、ハネウェル社から支給されたフラッシュアップグレードファイルを見つけ、開きます。
9. 設定値が *[Flash Utility]*ウィンドウに表示されていることを確認します。
10. *[Flash Scanner]*ボタンをクリックしてフラッシュアップグレードを開始してください。アップグレードが完了すると、メッセージが画面上に現れます。

    製品またはファームウェアによっては、フラッシュアップグレード完了に時間がかかる場合があります。フラッシュアップグレート完了のメッセージが表示されるまでスキャナとホストシステムのケーブルを取り外さないでください。

MS7580-124-EAS モデル

MS7580-124-EAS は電子式商品監視（EAS）システムに対応した統合アンテナを備えています。S7580-124-EAS の統合を成功させるためには、以下の情報を EAS システム製造者の説明書と一緒に使用して下さい。

RF EAS 統合アンテナの接続

以下は、RS232C インターフェースの MX-5S114-E-3 ケーブル、または USB インターフェースの MX-5S236-E-3 ケーブルを同梱した MS7580-124-EAS キットに関する情報です。

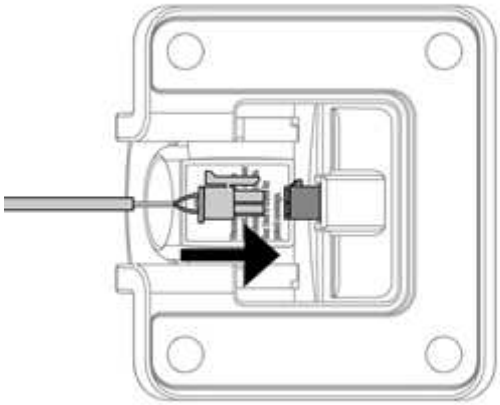


図 26. アンテナの接続

EAS システムの接続

以下の情報は、EAS システム製造者の説明書と一緒に使用して下さい。

Checkpoint® EAS システムの統合

Checkpoint EAS システム対応のケーブルにはデバイス接続用の追加ワイヤ 5 本を備えています。*
下表を見て、適切なワイヤおよびターミナル設定を行って下さい。

アンテナおよびインターロック† 接続			
ケーブル (MX-5S236-E-3 or MX-5S114-E-3)		Checkpoint デバイス	
ワイヤカラー	ワイヤゲージ	接続	タイプ
無地の明るい緑	Thin	INTLK + ターミナル	インターロック†
無地の黒	Thin	INTLK – ターミナル、GND	
赤および白	Thick	アンテナ + ターミナル	アンテナ
黒および白	Thick	アンテナ – ターミナル	
絶縁体なし/シールド		アンテナシールド	

† インターロック機能には特定の EAS デバイス設定が必要です。EAS システム製造者の取扱説明書を見て、適切なスイッチおよびタイミングポテンションメーターの設定を確認してください。

* *警告文*

北米地域

警告:アプリケーション基準に対する準拠を維持するには、スキャナに接続された回路すべてが UL60950-1 2nd Edition 2.5 項目の NEC Class 2 電力源および制限つき電力源の要件を満たしている必要があります。

その他の地域

警告:アプリケーション基準に対する準拠を維持するには、スキャナに接続された回路すべてが UL60950-1 2nd Edition 2.5 項目の制限つき電力源の要件を満たしている必要があります。

Checkpoint デバイスには、2 つのスイッチバンクでアンテナチューニングの無力化を設定しています。スイッチバンクの推奨設定は、下記の通りです。タグ無力化のガイドラインについては、*41 ページ*を参照してください。

スイッチバンク設定			
SW1		SW2	
スイッチ 1 - 6	OFF	スイッチ 1 - 6	OFF

無力化の範囲を最大にするには、0pF～47pF に設定されることを推奨します。

EAS アプリケーションの設定

EAS は MS7580-124-EAS のデフォルト時に無効となっています。有効にするには、イメージャーをシステムのタイプやシグナルモードによって設定しなければなりません。イメージャーの EAS システム機能を設定するには、下記の順序に従って実施してください。

1. 下記のシステムタイプのバーコードを読み取って、EAS システムサポートを有効にしてください。

   Checkpoint System EAS サポートを有効にする

2. *「連続モードを有効にする」*__*または*__*「レギュラーモードを有効にする」*のいずれかを読み取ってください。

   レギュラーモード

   レギュラーEAS モードでは、イメージャはバーコードの送信に成功した直後に起動の信号を EAS システムに送ります。また、設定された EAS タイムアウトが切れた直後に停止の信号を EAS システムに送ります。

   注意：レギュラーモードが有効の場合、EAS タイムアウトの長さを別途設定する必要があります（40 ページを参照）

   レギュラーモードを有効にする

   連続モード

   連続モードでは、最初にイメージャに電源が入った際に起動の信号を EAS システムに送ります。連続モードが有効の場合、エリアイメージャは EAS システムを停止することはありません。また、EAS タイムアウトを設定する必要はありません。

   連続モードを有効にする

3. EAS タイムアウトの長さを選んで読み取ってください（レギュラーモードのみ）。
   下記のバーコードを読み取ることで EAS タイムアウトの長さを設定できます。設定されたタイムアウトが切れるとイメージャは EAS インターロック信号を離れて、停止します。
   尚、連続モードには EAS タイムアウトの効果がありません。
   注意：イメージャが定期的に EAS タグの無力化に失敗する場合、タイムアウトの長さを延長してください。

EAS タイムアウト 100 ミリ秒

EAS タイムアウト 500 ミリ秒

EAS タイムアウト 1 秒

EAS タイムアウト 5 秒

EAS サポートを無効にする

下のバーコードを読み取って、EASサポートを無効にしてください。

EAS サポートを無効にする

EAS タグ無力化の範囲

アンテナの予防処置

EAS 統合アンテナはイメージャーのスタンド/ベースに内蔵されています。イメージャーのベースを濃度の高い金属に接近して放置、または同封しないでください。アンテナに悪影響を与え、無力化の期待範囲を狭める原因となる可能性があります。.

タグ保管の予防処置

MS7580 から 45.7cm 以内の範囲にタグを保管しないでください。45.7cm 以内に保管されている場合、無力化させてしまう可能性があります。予防策として、MS7580 の下にも保管しないようお勧め致します。

無力化の範囲

タグを正しく無力化させるためには、タグ全体が 図 27 (下図)および図 281 で示されたタグ無力化の期待範囲を通過する必要があります。

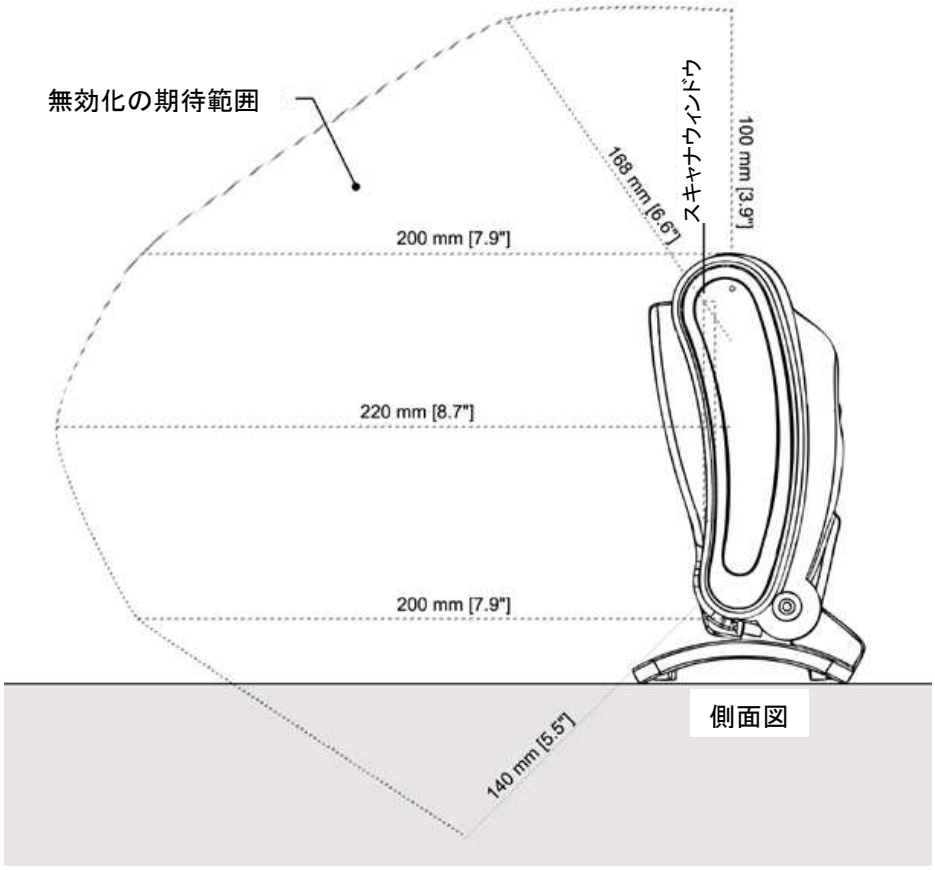


図 27. 期待されるタグ無効化の範囲（側面図）

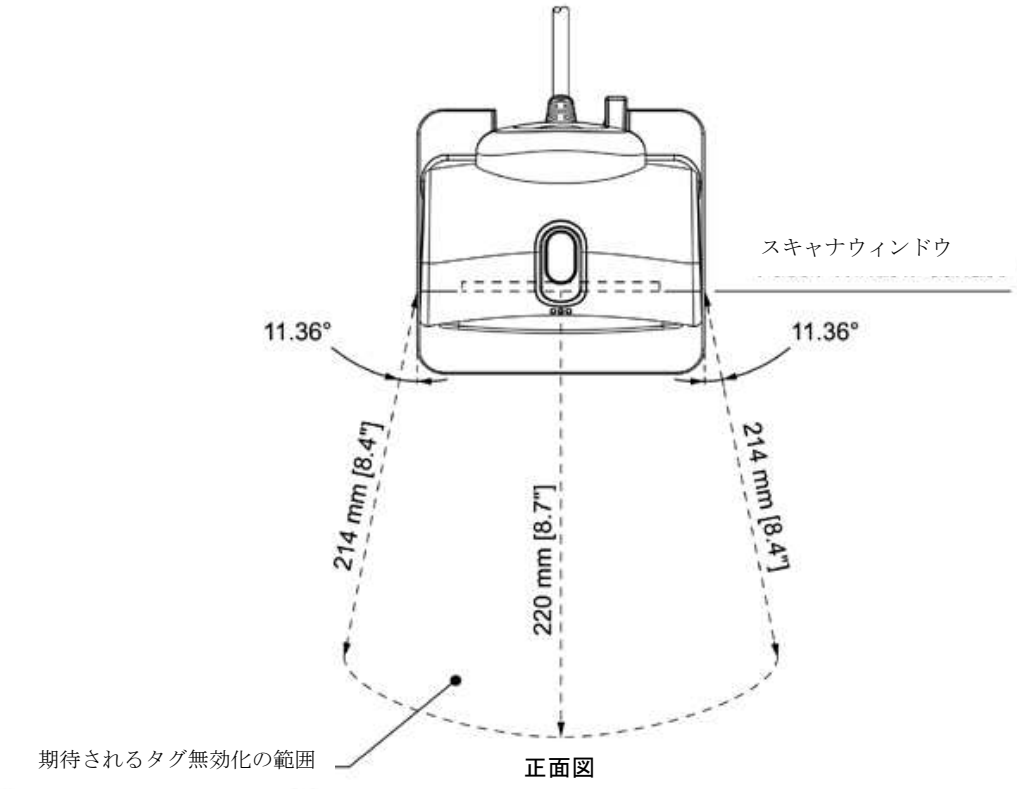


図 28. 期待されるタグ無効化範囲（上部図面）

イメージャのピン割り当て – MS7580-124-EAS

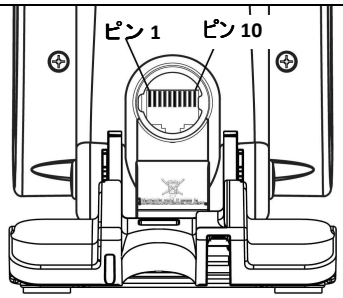


図 29. MS7580-124-EAS, 10 ピン メス モジュラーソケット

RS232			USB◆◆	
ピン	**機能**		**ピン**	**機能**
1	信号／パワーグラウンド		1	信号／パワーグラウンド
2	CTS 入力		2	ケーブルのピン 4 に直結
3	RS232 受信入力		3	未接続
4	未接続		4	ケーブルのピン 2 に直結
5	Reserved		5	Reserved
6	RTS 出力 ✧		6	USB D+
7	Reserved		7	+5VDC USB 電源
8	RS232 送信出力 ✧		8	USB D-
9	+12V 電源		9	+12V 電源
10	シールドグラウンド		10	シールドグラウンド
シェル	信号／パワーグラウンド		シェル	信号／パワーグラウンド

RF EAS 統合アンテナ (MS7580-124-EAS モデルのみ)	
ピン	**機能**
1	EAS ANT -
2	EAS ANT +

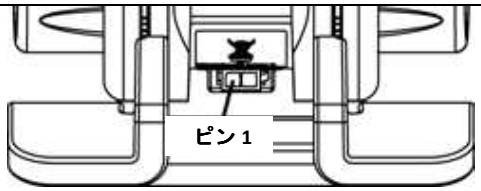


図 30. 2 ピン ボックスレセプタクル

◆◆ *USB は、パススルー機能に 12V の電力が必要です。*

✧ *ピン 6 および 8 の信号は、MS7580-124-EAS モデルの TTL レベル RS232 出力信号です。*

ケーブルのピン割り当て(ホスト端)‡

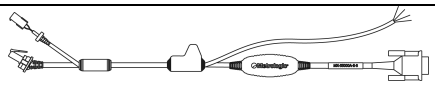
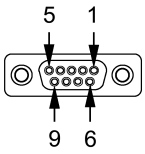
<table>
<tr><td colspan="2">RS232, 12V VLink ケーブル
MX-5S000-E-3</td><td>  </td></tr>
<tr><td>ピン</td><td>機能</td><td rowspan="10"> 

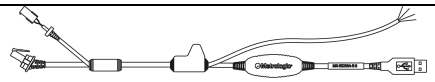
図 31. 9ピン メスコネクタ, D タイプ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>シールドグラウンド</td></tr>
<tr><td>2</td><td>RS232 送信出力</td></tr>
<tr><td>3</td><td>RS232 受信入力</td></tr>
<tr><td>4</td><td>DSR</td></tr>
<tr><td>5</td><td>電源／シグナルグラウンド</td></tr>
<tr><td>6</td><td>DTR</td></tr>
<tr><td>7</td><td>RTS</td></tr>
<tr><td>8</td><td>CTS</td></tr>
<tr><td>9</td><td>ホスト +12VDC</td></tr>
<tr><td colspan="2">USB ケーブル
MX-5S235-E-3</td><td>  </td></tr>
<tr><td>ピン</td><td>機能</td><td rowspan="5">

図 32. USB タイプ A, 非ロック式</td></tr>
<tr><td>1</td><td>PC +5V/V_USB</td></tr>
<tr><td>2</td><td>D-</td></tr>
<tr><td>3</td><td>D+</td></tr>
<tr><td>4</td><td>グラウンド</td></tr>
</table>

アンテナの取り外し

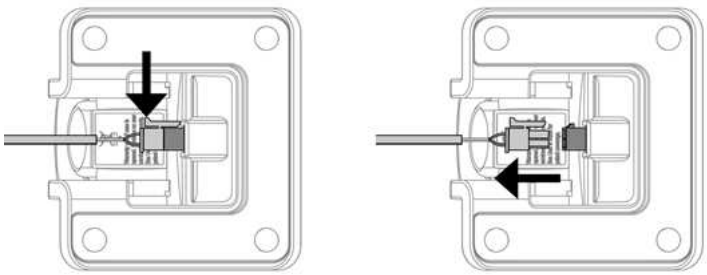


図 33. アンテナの取り外し

‡ MS7580-124-EAS 対応のケーブルです。MS7580 スタンダードケーブルのピン割り当てについては、46 ページを参照してください。

イメージャおよびケーブル端子

スタンダードイメージャのピン割り当て‡

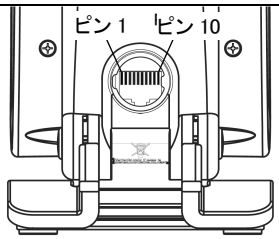


図 34. MS7580 の背面/コネクタ図

RS232◆

ピン	機能
1	信号／パワーグラウンド
2	CTS/DTR 入力
3	RS232 受信入力
4	未接続
5	未接続
6	RTS 出力✧
7	未接続
8	RS232 送信出力✧
9	AC アダプタ電源
10	シールドグラウンド
シェル	信号／パワーグラウンド

キーボードウェッジ◆

ピン	機能
1	信号／パワーグラウンド
2	ケーブルのピン 3 に接続
3	ケーブルのピン 2 に接続
4	PC データ
5	PC クロック
6	KB クロック
7	+5VDC PC キーボード電源
8	KB データ
9	AC アダプタ電源
10	シールドグラウンド
シェル	信号／パワーグラウンド

RS485◆

ピン	機能
1	信号／パワーグラウンド
2	CTS
3	RXD
4	PC Data
5	PC Clock
6	KB Clock
7	キーボード／USB 電力
8	TXD
9	AC アダプタ電源
10	シールドグラウンド
シェル	信号／パワーグラウンド

USB◆◆

ピン	機能
1	信号／パワーグラウンド
2	ケーブルのピン 4 に接続
3	未接続
4	ケーブルのピン 2 に接続
5	未接続
6	USB D+
7	+5VDC USB 電源
8	USB D-
9	AC アダプタ電源
10	シールドグラウンド
シェル	信号／パワーグラウンド

◆ *RS485、RS232 およびキーボードインターフェースは操作に 12V の電力が必要です。*

◆◆ *USB は、パススルー機能に 12V の電力が必要です。*

✧ *ピン 6 および 8 の信号は、TTL レベルの RS232 出力信号です。*

‡ *MS7580-124-EAS Genesis のピン割り当て情報については、43 ページを参照して下さい。*

スタンダードケーブルのピン割り当て‡ (ホスト側)

RS232, 12V VLink ケーブル
5S-5S000-3

ピン	機能
1	シールドグラウンド
2	RS232 送信出力
3	RS232 受信入力
4	未接続
5	電源／シグナルグラウンド
6	Reserved
7	CTS 入力
8	RTS 出力
9	+12VDC

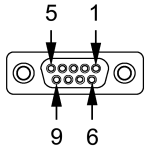


図 35. 9 ピン メス, D タイプ

RS485 ケーブル
MX-RS485-5S006-N-3

ピン	機能
1	信号／パワーグラウンド
2	IBM A+
3	IBM B-
4	+12VDC

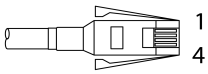
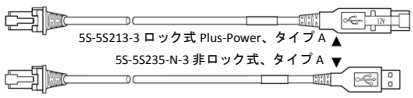


図 36. SDL A キー接続

USB
5S-5S213-3 または 5S-5S006-N-3



ピン		機能
タイプ A 非ロック式	タイプ A ロック式 Plus-Power	
1	1	PC +5V/V_USB
2	2	D-
3	3	D+
4	4	グラウンド
	5	グラウンド
	6	+12VDC
	7-8	未接続

5S-5S235-N-3

図 37. USB タイプ A 非ロック式

5S-5S213-3

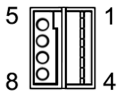
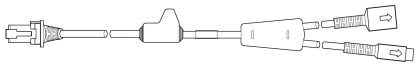


図 38. USB タイプ A ロック式 Plus-Power

.

‡ *MS7580-124-EAS Genesis のピン割り当て情報については、44 ページを参照して下さい。*

キーボードウェッジ VLink ケーブル 5S-5S002-3	
ピン	**機能**
1	KB クロック
2	KB データ
3	未接続
4	パワーグラウンド
5	+5VDC



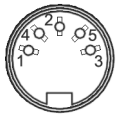


図 39. 5 ピン DIN, メス

ピン	**機能**
1	PC データ
2	未接続
3	パワーグラウンド
4	+5VDC
5	PC クロック
6	未接続

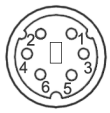
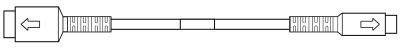


図 40. 6 ピン DIN, オス

ハネウェル社は、一方の端に 5 ピン DIN オスコネクタともう一方の端に 6 ピンミニ DIN メスコネクタを備えたアダプタケーブルを支給します。終端要件に従って、アダプタケーブルの該当する端を VLink ケーブルに接続し、必要な端子をキーボードおよび PC 上のキーボードポートとの接続に使用できるようにしてください。

キーボードウェッジ アダプターケーブル 5S-5S002-3	
ピン	**機能**
1	PC クロック
2	PC データ
3	未接続
4	パワーグラウンド
5	+5VDC



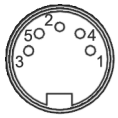


図 41. 5 ピン DIN, オス

ピン	**機能**
1	KB データ
2	未接続
3	パワーグラウンド
4	+5VDC
5	KB クロック
6	未接続

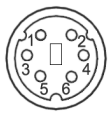


図 42. 6 ピン ミニ DIN, メス

限定保証

Honeywell International Inc. (HII)は、製品およびオプション付属品が材質、製造、および設計において欠陥が無く、出荷時に購入製品に適用されていた HII 発行の仕様に合致していることを保証します。本保証は、(ⅰ)不適切に取付けまたは使用された場合、(ⅱ)適切なメンテナンス、サービスまたはクリーニングによって発生した故障を含む偶発的または業務上の過失で破損した場合、(ⅲ)購入者またはその他による改造および改変を行った場合(A)、インターフェース接続から過剰な電圧電流の供給または引き込みが発生した場合(B)、静電気または静電放電が発生した場合(C)、環境仕様を超える状況下で使用した場合(D)、HII や HII 公認のサービスセンター以外の手によって修理またはサービスを施した場合(E)に発生する破損に対しては適用されません。

本保証は、製品購入時に出荷日から HII が公告する期間分を延長することができます(保証期間)。いかなる欠陥製品も検査の為、保証期間内に購入者送料負担の上で HII または HII 公認サービスセンターに返却しなければなりません。HII に連絡し、商品返品確認番号(RMA)を取得した上で HII へ発送してください。製品が保証期間内に HII または HII 公認サービスセンターに返却され、HII が材質、製造、および設定における欠陥による障害が発生していると判断した場合、製品を無償で修理または交換します。

適用法によって定められている場合を除いて、前述の保証は製品の市販性、特定目的との適合性、また他の権利を侵害しないことを含む(ただし必ずしもこれらに限定されない)口頭または書面によって、明示または暗示された全ての制限条項または保証に代わるものとします。

本限定保証における HII の責務および購入者に対する唯一の救済方法は新しい部品または改造部品を搭載した欠陥製品の修理または交換に限定されます。いかなる場合であっても HII は間接的、偶発的または誘発的損失に責めを負いません。また、いかなる場合であってもこの下に販売されたどの製品にも関連して生ずる HII の責務(例えば契約、保証、不法行為またはその他に基づく主張から生ずる責務)は、実際に HII に支払われた金額を超えることはありません。これら責務に関する制限は、損傷、損失または損害の可能性の報告を受けていている際でも有効に存続します。州、地域または国によっては、偶発的または誘発的な損害の排除の限定または排除を許可していません。故に上記の限定または排除は適用されません。

本限定保証の内、いかなる条項も無効または法的強制力がなく無縁であり、これに関して他の条項の法的有効性になんら影響を及ぼしません。製造者が提供していない周辺機器の使用はこの保証対象外の損失を受ける場合があり、これはケーブル、電源アダプタ、クレードルまたはドッキングステーションを含みますが、これらに限定されるわけではありません。HII は、製品最初のエンドユーザーのみに対して保証を延長しますが、保証は他に譲渡できません。

MS7580 の限定保証期間は、2 年間です。付属品の限定保証期間は製造日から起算して 90 日以内となります。

法令遵守

安全性

ITE 装置

IEC 60950-1, EN 60950-1: 2006+A11: 2009

LED

LED は IEC6247: 2006 に定める基準に従い試験を行い、『EXEMPT RISK GROUP』に分類されました。

警告

本書に記載された以外の制御の使用、調節、手順の実行により、危険な放射暴露につながる可能性があります。顧客は、いかなる状況においても、LED スキャナの修理を試みてはなりません。スキャナが作動していないように思われる場合でも決して LED 光線を直接見ようとしないでください。また、スキャナ内部を調べる目的で装置を開けてはなりません。このような行為により危険な放射暴露が発生する可能性があります。LED 装置を備えた光学器具の使用は、目に対する危険性が増加することになります。

Caution

Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. Under no circumstances should the customer attempt to service the LED scanner. Never attempt to look at the LED beam, even if the scanner appears to be nonfunctional. Never open the scanner in an attempt to look into the device. Doing so could result in hazardous radiation exposure. The use of optical instruments with the LED equipment will increase eye hazard.

Atención

La modificación de los procedimientos, o la utilización de controles o ajustes distintos de los especificados aquí, pueden provocar una exposición de luz brillante peligrosa. Bajo ninguna circunstancia el usuario deberá realizar el mantenimiento del LED (Diodo Emisor de Luz) del lector. Ni intentar mirar al haz del LED incluso cuando este no esté operativo. Tampoco deberá abrir el lector para examinar el aparato. El hacerlo puede conllevar una exposición peligrosa a la luz del LED. El uso de instrumentos ópticos con el equipo LED puede incrementar el riesgo para la vista.

Attention

L'emploi de commandes, réglages ou procédés autres que ceux décrits ici peut entraîner de graves irradiations. Le client ne doit en aucun cas essayer d'entretenir lui-même le scanner ou la LED. Ne regardez jamais directement le rayon LED, même si vous croyez que le scanner est inactif. N'ouvrez jamais le scanner pour regarder dans l'appareil. Ce faisant, vous vous exposez à un risque d’irradiation. L'emploi d'appareils optiques avec cet équipement à LED augmente le risque d'endommagement de la vision.

Achtung

Die Verwendung anderer als der hier beschriebenen Steuerungen, Einstellungen oder Verfahren kann eine gefährliche Licht emittierender Dioden strahlung hervorrufen. Der Kunde sollte unter keinen Umständen versuchen, den Licht emittierender Dioden-Scanner selbst zu warten. Sehen Sie niemals in den Licht emittierender Diodenstrahl, selbst wenn Sie glauben, daß der Scanner nicht aktiv ist. Öffnen Sie niemals den Scanner, um in das Gerät hineinzusehen.

Wenn Sie dies tun, können Sie sich einer gefährlichen Licht emittierender Diodenstrahlung aussetzen. Der Einsatz optischer Geräte mit dieser Laserausrüstung erhöht das Risiko einer Sehschädigung.

Attenzione

L'utilizzo di sistemi di controllo, di regolazioni o di procedimenti diversi da quelli descritti nel presente Manuale può provocare delle rischiose esposizioni radiattive. Il cliente non deve assolutamente tentare di riparare egli stesso lo scanner LED (o diodo emettitore di luce). Non guardate mai il raggio LED (d. emettitore di luce), anche se credete che lo scanner non sia attivo. Non aprite mai lo scanner per guardare dentro l'apparecchio. Facendolo potete esporVi ad una radiazione rischiosa. L'uso di apparecchi ottici, equipaggiati con raggi LED (d. emettitori di luce), aumenta il rischio di danni alla vista.

EMC

エミッション

FCC Part 15, ICES-003, CISPR 22, EN 55022

イミュニティ

CISPR 24, EN 55024

法令遵守の責任をもつ当事者によって明示的に承認されていない変更または修正により、装置を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

クラス A 装置

次は、スキャナケーブルの長さが完全に延ばした状態で 3 メートル（9.8 フィート）を越える場合に適用されます。

The following is applicable when the scanner cable is greater in length than 3 meters (9.8 feet) when fully extended:

Les instructions ci-dessous s'appliquent aux cables de scanner dépassant 3 métres (9.8 pieds) de long en extension maximale:

Folgendes trifft zu, wenn das Scannerkabel länger als 3 Meter ist:

本機器は、FCC 規則第 15 部に従って試験され、クラス A のデジタル装置の制限に適合することが確認されています。これらの制限は、機器を商用環境で動作させたときに有害な干渉に対するしかるべき保護を提供するように設計されています。本機器は、無線周波エネルギーを生成および使用しており、無線周波エネルギーを放射する可能性があり、指示書に従って設置および使用しない限り、無線通信に対し電波妨害を発生させる可能性があります。居住エリアにおける本機器の操作は、電波妨害を発生させる可能性が高くなります。その場合、ユーザーはそれ自身の費用で妨害に対処することが必要となります。本機器に認められていない変更または修正を加えることによって、装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

本装置は、FCC 規則の第 15 部に適合します。動作には、次の 2 つの条件が適用されます。(1)本装置は妨害電波を発生しない可能性がある。(2)本装置は、好ましくない動作を引き起こす可能性のある妨害電波も含め、受信した妨害電波を受け入れなければならない。

通知

本クラス A のデジタル装置は、カナダ ICES-003 に適合します。

Remarque

Cet appareil numérique de classe A est conforme à la norme canadienne NMB-003.

欧州規格

警告

本製品は、クラス A の製品です。本製品は、居住環境において無線妨害電波を発生する可能性があり、ユーザーは十分な対策を講ずることが求められることがあります。

Warning

This is a class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Warnung!

Dies ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen. In diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Massnahmen durchzuführen.

Attenzione

Questo e' un prodotto di classe A. Se usato in vicinanza di residenze private potrebbe causare interferenze radio che potrebbero richiedere all'utilizzatore opportune misure.

Attention

Ce produit est de classe "A". Dans un environnement domestique, ce produit peut être la cause d'interférences radio. Dans ce cas l'utiliseteur peut être amené à predre les mesures adéquates.

法令遵守の責任をもつ当事者によって明示的に承認されていない変更または修正により、装置を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

クラス B 装置

次は、スキャナケーブルの長さが完全に延ばした状態で 3 メートル（9.8 フィート）未満の場合に適用されます。:

Les instructions ci-dessous s'appliquent aux cables de scanner ne dépassant pas 3 métres (9.8 pieds) de long en extension maximale:

Folgendes trifft zu, wenn das Scannerkabel kürzer als 3 Meter ist:

本装置は、FCC 規則の第 15 部に適合します。動作には、次の 2 つの条件が適用されます。（1）本装置は妨害電波を発生しない可能性がある。（2）本装置は、好ましくない動作を引き起こす可能性のある妨害電波も含め、受信した妨害電波を受け入れなければならない。

本機器は、FCC 規則第 15 部に従って試験され、クラス B のデジタル装置の制限に適合することが確認されています。これらの制限は、機器を居住環境に設置したときに妨害電波に対ししかるべき保護を提供するように設計されています。本機器は、無線周波エネルギーを生成および使用しており、無線周波エネルギーを放射する可能性があり、指示書に従って設置および使用しない限り、無線通信に対し電波妨害を発生させる可能性があります。しかし、特定の設置状態において妨害が発生しないことを保証することはできません。本機器が無線またはテレビ受信に対し妨害電波を発生させる場合（このことは装置のオンオフを行って確認する）、ユーザーは次のいずれかの対策により妨害電波の発生をなくすように努めることが推奨されます。

- 受信アンテナの向きを変えるまたは位置を変える。
- 機器とレシーバの距離をあける。
- レシーバが接続されている回路上のコンセントとは異なる回路上のコンセントに機器を接続する。
- ディーラーまたは経験のある無線／TV 技術者に支援を求める。

通知

本クラス B のデジタル装置は、カナダ ICES-003 に適合します。

Remarque

Cet appareil numérique de classe B est conforme à la norme canadienne NMB-003.

カスタマーサポート

テクニカルサポート

製品の操作・設定方法やトラブルシューティングに関するサポートが必要な場合は、下記のいずれかの方法をお試しください。

ナレッジベース:**www.hsmknowledgebase.com**

ハネウェルのナレッジベースでは、様々なソリューションを網羅しています。ナレッジベースで問題が解消されない場合は、テクニカルサポートポータルサイト(下記参照)をご覧ください。

テクニカルサポートポータルサイト:**www.hsmsupportportal.com**

テクニカルサポートポータルサイトでは発生している問題の報告だけでなく、弊社のナレッジベースから技術的な質問に対する解決方法を検索していただけます。ナレッジベースで解決方法が見つからない場合は、オンラインで質問を送信することができ、テクニカルサポートからの回答や資料を入手することが可能です。

ウェブフォーム:**www.hsmcontactsupport.com**

オンラインサポートフォームを入力することで、テクニカルサポートに直接お問い合わせいただけます。ご質問者の情報とご質問内容を詳細にご記入いただき、お問い合わせください。

電話によるお問い合わせ:**www.honeywellaidc.com/locations**

ウェブサイトで各地域事業所の情報を公開しています。または、*55 ページ*をご覧の上、お問い合わせください。

製品修理サービス

ハネウェルは世界中のサービスセンターを通して全製品に対するサービスを提供しています。保証内または保証外のサービスを受けられる場合は、返品前に、以下の該当地域事務所に連絡し、RMA（Return Material Authorization）番号を取得してください。

北アメリカ

TEL: (800) 782-4263
E-mail: HSMNAservice@honeywell.com

ラテンアメリカ

TEL: (803) 835-8000
TEL: (800) 782-4263
Fax: (239) 263-9689
E-mail: DLHIMMKT-laservice@honeywell.com

ブラジル

TEL: +55 (11) 5185-8222
Fax: +55 (11) 5185-8225
E-mail: DLHIMMKT-brservice@honeywell.com

メキシコ

TEL: 01-800-HONEYWELL (01-800-466-3993)
Fax: +52 (55) 5531-3672
E-mail: mxservice@honeywell.com

ヨーロッパ、中東、アフリカ

TEL: +31 (0) 40 2901 633
Fax: +31 (0) 40 2901 631
E-mail: euroservice@honeywell.com

香港

TEL: +852-29536436
Fax: +852-2511-3557
E-mail: apservice@honeywell.com

シンガポール

TEL: +65-6842-7155
Fax: +65-6842-7166
E-mail: HSMAsia-apservice@honeywell.com

中国

TEL: +86 800 828 2803
Fax: +86-512-6762-2560
E-mail: HSMChina-apservice@honeywell.com

日本

TEL: +81-3-6730-7344
Fax: +81-3-6730-7222
E-mail: HSMJapan-apservice@honeywell.com

オンラインでの製品のサービスと修理

ウェブサイト（www.honeywellaidc.com）より製品のサービスならびに修理に関するオンラインサポートをご利用いただけます。

Honeywell Scanning and Mobility

9680 Old Bailies Road
Fort Mill, SC 29707
www.honeywellaidc.com

ハネウェルジャパン株式会社
ACS/HSM
ハネウェルスキャニングアンドモビリティ
〒105-0022 東京都港区海岸 1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワー20 階
www.honeywellaidc.com

GEN-7580-UG Rev C
10/11